



春の香り  
 西日本一のスイセン

- 2 平成22年度施政方針
- 6 特集 地域医療を守る  
 - 庄原赤十字病院が増改築を決定 -
- 10 「庄原さとやま博」今秋スタート
- 12 庄原市補助金ガイド
- 19 平成22年度市の組織・機構の見直し
- 20 ご利用ください！出前トーク
- 22 健康広場「変形性膝関節症」
- 23 市政トピックス
- 24 カメラレポート
- 28 お知らせ
- 36 巻末特集「庄鯉の絆」  
 - カーブ応援がまちの活力に -

花の季節の到来を告げる備北丘陵公園の「スイセンファンタジー2010」。  
 130品種30万本のスイセンが咲き広がり、多くの観光客を楽しませています。  
 4月11日(日)まで開催。「春まつり」は4月8日(木)～5月9日(日)。(関連33ページ)



(平成22年3月1日撮影)

Vol.11 「実家の紅梅」  
 しょうばら百景  
 SHOBARA HYAKKEI

この写真は先日、西城町東の実家に行った時に撮影したものです。  
 あまりに庭の紅梅がきれいだったので、私が子どものころ育った風景も一緒に、シャッターを押しました。  
 この紅梅は、母が大切に育て、50年余り経っています。これを見ると、「春が来たな」と肌感じます。私より少し若い紅梅ですが、一人暮らしの母と暖かい春を一步一歩待っています。  
 (上永範江・東本町)

応募方法

写真を通して庄原市の魅力を再発見するコーナーです。風景写真はもちろん人物写真でも結構です。あなたの好きな庄原市の風景を写真で紹介してください。また、この写真への思いや撮影エピソードなどを200字程度にまとめ、郵送またはメールでご応募ください。

応募先  
 〒727-8501 庄原市中本町一丁目10番1号  
 庄原市企画課広報統計係  
 ☎0824-73-1159  
 メール kikaku-toukei@city.shobarahiroshima.jp

住宅エコポイントが  
 はじまりました。



国土交通大臣許可(特-17)第4638号  
**住友不動産** 新築そっくりさん 広島東営業所  
 〒739-0011 広島市西条本町7-29(林ビル1階)  
 TEL082-431-3525 FAX082-423-1751  
 http://www.sokkuri3.com/

詳しくはフリーダイヤルまで  
 お気軽にお電話下さい。また、ホームページでもご覧頂けます。  
**0120-356-218**  
 FreeDial

資料請求券  
 入札にのり紙を貼って  
 送ってください。



# 「共生社会」の実現を目指して

## ～ 景気対策と持続可能な農業に重点～

3月4日に開催された市議会本会議で、滝口季彦市長が平成22年度の施政方針を述べました。その一部を抜粋して紹介します。(全文はホームページに掲載しています。)

### 財政の健全化

**長** 期総合計画・後期実施計画におけるまちづくりの基本的な考え方について述べさせていただきます。

「アげんき」と「やすらぎ」のさとやま文化都市を将来像として具現化するために、今年度、前期計画掲載事業を継承し全域的整備発展の視点に基づく、今後6年間の具体的まちづくりの設計図として後期実施計画を策定いたしました。

この計画の基本となるのは、まず、財政の健全化でございます。

国・地方とも巨額の債務残高を抱える中において、本市においては18年度から財政規律の構築に向け「行政経営改革大綱」を柱として、「持続可能な財政運営プラン」などを策定し、歳入の確保努力は当然として補助金や職員数、給与の削減など、痛みも伴う改革に、強い決意を持って臨んでまいりました。こうした取り組みの結果、実質公債費比率は20年度の23.5%をピークに減少し、21年度末では22.6%、普通会計地方債残高も20年度末に比べて約14億円少ない約486億円を見込み、さらに27年度に向けては、実質公債費比率18.7%、起債残高は約410億円を目標とし

ております。

実質公債費比率や起債残高などの財政指標は、事業を抑制するほど好転いたします。その反面、地域の活性化や安全・安心の確保など「一体的な発展」に振り向けられる予算は縮小し、長期総合計画で深刻な問題として整理しております人口の減少・産業の衰退・財政状況の悪化など、負のスパイラルから脱することは極めて困難となります。

「入るを量りて出ずるを制す」という財政規律を重視する姿勢は当然として、経済変動や社会構造の変化に即応し、新たな行政需要にも対応できる強固で弾力的な財政基盤を確立しつつ、長期総合計画の将来像の実現に向け、「やるべき事業」と「やらなければならぬ事業」を熟考し、選択と集中により、費用対効果と市民の満足度を高めることが極めて重要と考えております。

### 後期計画の重点施策

(平成22年度～27年度)

#### ①協働のまちづくり

**後** 期計画における「まちづくり」の重点施策について述べさせていただきます。

事業の集中と選択という視点に加

え、前期計画を継承する一貫した事業の継続が、事業効果を高め市民利益に通ずると認識いたしております。市民の皆さんの「幸せ」実現に向け、特に重点化する施策の1つは、「協働のまちづくり」であります。

「自助」、「互助・共助」、「公助」の「補完性の原理」により、市民一人一人のニーズに的確にこたえるため、市民にもっとも身近な自治振興区を「新たな公共の担い手」と位置づけ、行政との協働により、きめ細く・柔軟かつ迅速に市民ニーズにこたえることが、市民の満足度の向上と、「協働」と「補完」の「共生社会の実現」につながってまいります。

「互助・共助」を担う実践的な住民自治組織として、「自らの地域は、自ら考え、自ら守り、自ら創る」という自主性と主体性を発揮し、地域の夢を担える組織体となるよう自治振興区が行う活動を継続して支援し、特に自治振興センターについては交付金を増額するほか、地域の拠点および関連施設の整備や改修を進め、市民と行政とが一体となったまちづくりを意欲的に進めます。

#### ②安全・安心の暮らしづくり

**生** み、育て、働き、老い、やがて一生を終えるまで、健康で元気に

暮らしたいと思うのは、誰しもの願いであり、病气やけがの治療を行う身近な医療機関は無くしてはならないものでございます。しかし、勤務環境の悪化などを背景とした医師不足は、全国的な課題として深刻化しており、本市においても出産医療体制の休止状態が続ぎ、麻酔科医師などの確保も厳しい状況にあります。

こうした現状の打開を図るため、地域で医師を守るとの視点による「庄原市の地域医療を考える会」を基軸とした市民意識の醸成や公的医療機関の耐震改修、施設改修、医療機器の高度化を進め、医師勤務環境の改善と診療体制の充実を図るなど、医師等の確保と地域医療を守る取り組みを積極的に行ってまいります。

なお、庄原赤十字病院については、二次救急指定病院・災害拠点指定病院等としての機能を確保するため、25年12月の完成を目指し外来棟・診療棟などを耐震化整備するとされており、隣接する市民会館駐車場の減額貸付や整備に係る建設費の一部補助、建設借入れ資金の償還支援を行い、地域医療を守ってまいります。

また、常備消防機械装備の充実による災害即応体制の強化に加え、災害情報等を速やかに市民に告知するための防災行政無線設備の整備に着手するなど、市民の安全・安心の暮らしの基盤づくりを積極的に進めます。



## 「共生社会」の実現を目指して

～景気対策と持続可能な農業に重点～



末より大きく減少しており、市内経済の危機的状況は回避されつつあると判断しております。しかしながら、景況感回復の実感は乏しく雇用情勢も依然厳しい現状では、地域経済への一段のてこ入れが必要であります。

国の対策趣旨に沿い、地元の中小企業や零細事業者が受注できる、きめ細かな施設修繕や道路補修事業などの第4次経済危機対策と第3次経済危機対策の22年度繰越分、新年度当初予算により、地域の実態や雇用・経済情勢に即応した事業を切れ目なく展開してまいります。

### ③子育て、教育環境の整備

#### 保

育所・小中学校は多くの児童や生徒等が一日の大半を過ごす学習・生活の場であるとともに地域住民のコミュニティの拠点、非常災害時の緊急避難場所としての防災機能を担う施設でもございます。前期から小中学校の耐震補強を進め、今年度末には26の小中学校のうち21校の耐震補強が完了の予定であります。今後は、庄原中学校など残る5校の耐震化に加え、保育所の耐震診断結果を受け、庄原保育所など2所と老朽化が激しい西城保育所など4所の改修を27年度末までにすべて終え、子どもを育み、命を守る保育・教育環境となるよう集中的に取り組めます。

### ④重点戦略プロジェクトの推進

#### 地

域という大地に農業、木質バイオマス、観光定住の3つのプロジェクトの根がしっかりと張り、再生力と活力が育ちつつあることを強く感じております。引き続き、さらなる事業の推進を図り、地域経済の活性化と「さとやま」の再生への取り組みを果敢に進めてまいります。

まず、**農業自立振興プロジェクト**は、経済社会に埋没しつつある土地、人、技を今一度掘り起こし、豊かな自

### ②持続可能な農業

#### 日

本の農業は、これまで多くの小規模農家や兼業農家、農業生産法人など多様な担い手によって支えられ、食料の安定供給のみならず国土や自然環境の保全、美しい景観の形成、文化の伝承など、農村社会の形成に極めて重要な役割を担ってまいりました。しかし、長期にわたる米の生産調整や米価の下落、野菜の産地間競争の激化、牛肉の輸入自由化などにより農業所得は半減し、過疎高齢化と新たな担い手参入の不足による耕作放棄地の増大、さらには限界集落など山積する課題を抱え、特に小規模農家、兼業農家にとっては産業としての持続可能性喪失の瀬戸際であり、食料生産を担う日本農業と農村社会の将来性は極めて危機的な状況にあります。本市を含む中山間地域の農業は、急峻な山間や険しい谷間に囲まれた中で行われ、集約化合理化による大規模且つ効率的な農地経営だけでは、諸課題を解決できない地域や農業の担い手すら確保できない地域もいくつかあります。

本市においては、「農業自立振興プロジェクト」を掲げ、農業後継者育成支援や宿泊施設を活用した新規就農者の拡大、農外企業の農業参入支援など、多様な担い手に対して広範な支援を実施し、農業の自立振興に向け戦略的に取り組んだ結果、離職者や若者を

然と地域の個性により付加価値を高め「生業となる農」の復興を図るため、庄原米のブランド化に向けた育苗施設整備への助成や土作り・作物作りの支援、新規就農の促進と販路の拡大、畜産支援などを、JA庄原や農林振興公社との連携をより強化し、推進してまいります。

**木質バイオマス活用プロジェクト**においては、木材資源を活用した木質ペレットの製造工場が稼働いたしました。加えて、木材からリグニン類などを製造する工場の建設も22年度末の完成に向けて進んでおり、これらの取り組みを通じて木質バイオマス資源を有効活用するとともに、原料の安定供給と未利用木材の付加価値化、山元の利益創出を目指した効率的な木材収集等の取り組みを推進すること、資源循環による森林保全、里山再生および地域活性化を図ってまいります。また環境保全と循環型社会構築に向けた取り組みをさらに加速させるため、公共施設等へ木質バイオマスボイラーを積極的に導入いたします。

**観光振興・定住促進プロジェクト**は、尾道松江線の開通をにらんだ高野観光交流ターミナル(道の駅)の整備や、22年10月から1年間にわたって開催する「庄原さとやま博」を通じて、市民が主役となり、市民が儲ける仕組みづくりを推進し、また市営工業団地への企業誘致と既存施設の活用による住

はじめとする研修者や就農者の増加、さらに農外企業におけるネギや夏秋イチゴ、キムチ製造などの新たな分野への進出による雇用の確保など、農業への「新しい風」も吹き始めております。

農業・食料という国家・国際レベルでの問題に対して、地方自治体が行い得る起死回生の取り組みには限界もございませぬ。しかし「何もしなければ、何も変わらない」ことを強く認識し、地域の農業を守り育てるため意欲的に取り組んでまいります。

また、子々孫々に至るまで、国民の食料確保はもとより、中山間地域の小規模農家、兼業農家をはじめとする多様な担い手が、生産への意欲と生活への自信を持って、ふるさとを耕し、ふるさとで育み、ふるさとで生き、ふるさとの文化を継承していきける農村社会の形成のために、持続的・安定的に経営できる農業の確立と、「食の安全・安心」に向け都市との共生の下で一体的な国土の発展となる食糧政策を国・県に強く求めてまいります。

### 「美しいふるさと」を継承

「故きを温ねて、新しきを知れば、以つて師と為るべし」と孔子は論語で述べております。

宅確保対策など、定住人口の増を目指してまいります。

こうした重点化事業のほか、「自治・協働」「産業・交流」「環境・基盤定住」「保健・福祉・医療」「教育・文化」の各分野において、総合的かつ計画的に施策を実施し、「市民と行政の協働によるまちづくり」、「地域の個性を伸ばし、活かすまちづくり」、「機能・役割を分担し、相互に補完・充足するまちづくり」を進め、「一体感の醸成」と「一体的発展」に取り組んでまいります。

### 22年度の重点施策

#### ①景気対策

**平** 成22年度において取り組む、重点施策について申し述べさせていただきます。

第一には、引き続き景気対策でございます。

本市においては昨年、国の経済政策に先んじて第1次緊急経済・生活支援対策を実施して以降、国・県の経済政策に呼応し、今年2月の第4次経済危機対策まで、総額約51億5千万円の経済危機対策を実施しております。こうした一連の対策実施の結果、生活・雇用・融資・住宅などの相談や、緊急生活安定資金の特別貸付け件数は昨年度

かつての農村は、農業・畜産・林業の複合経営が主体であり、また基幹産業でありました。稲わら・畦草・山草は牛の餌となり、牛は田畑を耕し、堆肥は田畑の肥やしとなり、人は山に分け入り薪を集め米を炊き暖を取り、家族は肩を寄せ合い、地域は支えあう。「さとやま」は「農林業」が生業の「共生社会」の風景でございました。

当時の生活そのものに戻ることは不可能であり、また現実的でもございませぬ。しかし、手入れの行き届いた実り豊かな田畑や木漏れ日の差し込む山々に囲まれて「お互いさま」と声を掛け合う地域社会と、たわむれる子どもたちの声や響き渡る様は、のどかで、心がやすらぎ、活力にみなぎる風景であり、子が親を想う気持ちにも似た「心のふるさと」でございます。

遊びをせんとや生れけむ  
戯れせんとや 生れけん  
遊ぶ子どもの声きけば  
我が身さえこそゆるがるれ

後白河法皇が平安時代末期に編み込まれた「梁塵秘抄」の中の一節でございませぬ。私たちが、先人の暮らしから「さとやま」を学ぶように、自然と暮らしを守り「共生社会」を実現し、「美しいふるさと」の創生と次代への継承に向け、一意専心、市政運営に精励してまいります。



# 地域医療を守る

## 庄原赤十字病院が増改築を決定

庄原赤十字病院は、耐震基準に対応した病院とするため、平成25年度の完成をめざし、本年11月から増改築工事に着手します。新たに西棟を庄原市民会館駐車場に建設。また、現在の療養病床や外来受付のある北棟や中央棟は解体し新しい北棟を建築します。

市は、安心社会実現のため、市民会館駐車場を減額して貸し付けるとともに、総事業費59億円のうち、国の交付金や自己資金を除く借入金42億円の一部に対して財政支援を予定しています。

庄原赤十字病院の増改築工事とその周辺で整備する市の事業の概要をお知らせします。



増築棟北東側イメージ (県道沿い敷地出入口より)

### 庄原赤十字病院が描く 将来ビジョン

Future vision

増改築工事をきっかけに、今後どのような病院を目指すのか。庄原赤十字病院が描く将来ビジョンに迫ります。

#### 診療科の維持

**診** 療科は現在の14科を維持。また、出産医療を休止している産婦人科は、3年以内の再開をめざします。病床数は、療養病床が9床減り、310床から301床になります。

#### 医師・医療スタッフの確保

**常** 勤医師、検査スタッフ、看護師などの確保と充実に努め、現状より10人のスタッフ増を目標とします。

#### 診療体制の充実

**循** 環器内科について、CT、MRIなどの医療機器の整備、検査部門の強化によって、医師・患者負担の軽減と診療体制の充実を図り、備北二次保健医療圏域(三次市・庄原市)における拠点性を発揮します。

#### 救急医療機能の発揮

**救** 急車が2台、3台と続けざまに到着する場合にも対応できる救急外来とします。オペ室については、現在の3室から4室に拡張します。

#### 医療連携体制の継続

**備** 北二次保健医療圏域内の高齢者比率の上昇は継続すると見込まれ、三次中央病院や西城市民病院と、脳血管疾患、急性心筋梗塞、二次救急医療をはじめ、手術時の医療スタッフ応援連携や術後の入院治療連携など医療連携体制を継続していきます。

#### 感染症への対応

**新** 型インフルエンザなど、感染症の大規模な流行に対応できる診療機能を整備し、第二種感染症病室を設置する予定です。

## 庄原赤十字病院が抱える 4つの課題

Four problems

なぜ、この時期に増改築工事をするのか。庄原赤十字病院が抱える課題を明らかにし、その理由を探ります。

### 1 診療機能が分散

昭和18年の開設以来、増設をしてきたため、診療機能が分散されて効率が悪く、分かりづらく不便な構造となっています。また、スペースが狭いため、日常の診療や日々進歩する医療への対応が困難になっています。

### 2 建物の地震に対する不安

昭和40年代から50年代前半に建築した建物は新耐震基準を満たしておらず、この建物内に救急処置室や内視鏡、CT、MRI、カテーテル室、手術室などの主要な検査治療機能があります。そのため、患者と職員の安全性を確保し、安心して医療を提供できる施設整備が急務となっています。

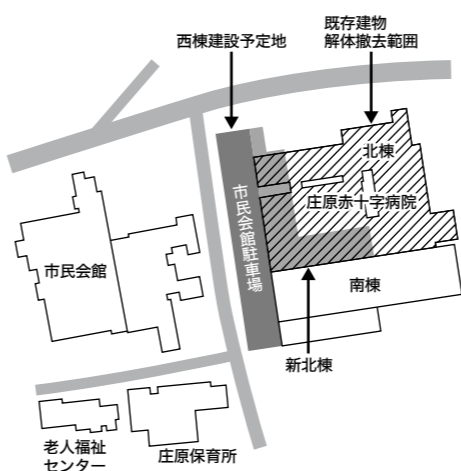
### 3 地域中核病院としての機能確保

市内には他に救急・高度医療に対応できる病院はないため、「庄原赤十字病院の機能充実を図ってほしい」とい

う強い声があります。また、市民の高齢化に伴い心疾患、脳血管疾患などの循環器疾患は急速に増加しており、十分な対応が期待されています。

### 4 診療環境整備による医師確保

大学医局からの医師派遣に依存しており、常勤医師の確保と維持が非常に厳しい状況です。また、勤務する医師からも設備面での課題が指摘されています。今後、大学医局との良好な関係を維持しつつ、医師の診療研究施設や症例検討のための会議室、医療機器など、設備や診療環境を早急に整備する必要があります。



## みんなに親しまれる医療環境づくり

### 施設整備の概要

平成6年に建設した「南棟」を除き、耐震強度が不足している外来・診療棟など7棟を解体します。現在の市民会館駐車場を借地し、新たに外来・療養病棟となる「西棟」と、診療棟となる「北棟」を建設します。

西棟は地上7階地下1階、北棟は3階建て。1階は外来と薬局、2階は外来と検査室、3階は手術室とリハビリ室、4階は療養病床、5階と6階は事務室や会議室を設けます。外来食堂は眺望の美しい最上階の7階に置きます。

バスの乗り入れができるロータリーを設置。また、エスカレーター、エレベーターの併用により安全性と移動性を確保し、高齢者などの負担を軽減します。

1階のエントランスホールは、待ち時間を快適に過ごせるように開放的で明るい吹き抜けを設け、大規模災害時に医療活動が行えるよう整備します。病院売店は、院外の地域住民も利

用ができるコンビニ形式を計画し、入院患者と地域住民の利便性を図ります。

医師・看護師の会議や研修スペースを十分に確保し、医師・看護師などから支持される環境確保に努めます。また、託児所の設置を検討し、医師や看護師への職場復帰や勤務環境の向上に配慮します。

### 工事スケジュール

場所	期間
西棟 建築工事	平成22年11月～平成24年1月
既存棟 解体工事	平成24年2月～6月、平成25年5月～9月
北棟 建築工事	平成24年6月～平成25年3月
駐車場他 環境整備工事	平成25年9月～平成25年12月





工事予定 24年度 保健センター整備  
概算事業費 3,200万円

**【市の計画事業概要】**  
庄原赤十字病院周辺では、市の後期実施計画に計上していた「市民会館駐車場整備」や「庄原保育所移転整備」などを、庄原赤十字病院の増改築工事と合わせて整備します。

**市民会館駐車場整備**

市民会館の駐車場を、庄原赤十字病院の「西棟」建設用地として貸し付けすることに伴い、現在の庄原保育所と庄原市老人福祉センターを移転し、その跡地に新たな駐車場を整備します。新しい駐車場が完成するまでの間は、旧江の川総合開発事務所跡地（庄原税務署の隣）を代替えの駐車場とする予定です。



工事予定 24年度 造成・整備計画  
25年度 庄原保育所・庄原市老人福祉センター解体撤去、駐車場造成整備  
26年度 市民会館駐車場供用開始  
概算事業費 1億5,416万円

**庄原保育所移転整備**

現在の庄原保育所は、昭和53年度に建築されたもので、すでに31年が経過

しており施設の老朽化も進んでいきます。また、耐震強度が十分ではないことや、入所児童数に比べ園舎や園庭が狭く、専用駐車場もないなど、課題を抱えてきました。

移転先は、庄原市土地開発公社が住宅用地として先行取得していた庄原市シルバールーム（三日市町）を予定しています。



工事予定 22年度 用地取得、造成設計、基本設計実施設計着手  
23年度 造成工事、基本設計実施設計完了  
24年度 建築工事  
概算事業費 6億8,340万円

**庄原市老人福祉センター機能確保**

庄原赤十字病院の増改築により、市民会館駐車場を整備するため、現在の庄原市老人福祉センターを取り壊し、老人福祉センターの主要な機能を、現在の庄原市保健センター（名称変更予定）などの既存施設に移します。

この老人福祉センターは、昭和55年に建築され29年が経過。老人クラブのサークル活動を中心に利用されています。

今後その活動が継続されるよう、保健センター館内の改修や、同敷地に工房を設けるなどの整備を進めます。

**【インタビュー】**

**交付金のある  
今がチャンス**



庄原赤十字病院 院長 中島浩一郎

当病院が抱える諸課題を解決し、市民の皆さんが安心して暮らせる高いレベルの医療提供を維持・向上させていくためには、早急な増改築が必要であると感じていました。しかし、概算事業費59億円を当

**Interview**

**市民の安心・安全な  
暮らしを確保**



保健医療課 課長 西田英司

庄原赤十字病院は、入院治療を必要とする重症救急患者を受け入

**医師・看護師の  
確保に期待**



庄原の小児医療を考える びだまりの会 代表 上村千幸さん

母親の立場からすれば、庄原赤十字病院が新しく、きれいになるというのは率直に「うれしい」です。正直なところ、子どもを連れて、最初に庄原赤十字病院へ行ったらときは、施設が古いので不安になり

ました。患者側の勝手なイメージですが、きれいな施設だと何となく安心感が持てます。また、そこで働く医師や看護師の皆さんも快適な医療環境を望んでおられると思います。全国的な医師不足の中、私たちは医師を守る活動をしており、新しい施設になることで、医師や看護師の確保にもいい影響が出てくることを期待しています。

**財政健全化や  
安全確保にも配慮を**



庄原自治振興区 区長 永井忠司さん

庄原赤十字病院は地域の中核病院として、徹底的に整備していく必要があると思っていましたので、今回の増改築工事を大変歓迎して

います。市外の病院へ行かなくてもいいように、市民に安心感が持てる病院、そして産婦人科の再開にも期待をしています。一方で、市からの財政支援が必要ですが、庄原保育所の移転や庄原中学校の建て替えなど、大型公共事業が相次ぐ中で、市の財政については不安もあります。また、地元では、工事期間中の安全確保など、さまざまな意見があります。これらの声に対して、市からの十分な説明と配慮をお願いしたいと思います。

院のみで負担し、整備することは困難です。そんな中、国の医療施設耐震化臨時交付金事業が設けられました。この事業を活用することにより、11・9億円という従来の補助事業に比べ、非常に有利な交付金を受けられることができ、この機会を逃しては、今後当分の間、諸課題を解決するための施設整備は困難だと判断しました。

さらに、広島大学病院や日赤本社をはじめとする関係機関に対して、あるいは市民の皆さんに、当院が将来的にわたって、庄原市の救急医療・高度医療を担う中核病院としての機能を果たしていく意思

を強く表明し、理解をいただく最適な機会と捉えたところです。今回、施設整備ができなかったと仮定した場合、現状のままでの施設整備機能充実には限界があり、医師確保を含め病院機能の縮小が懸念されます。また、救急医療の継続は困難となり、最悪の展開として地域医療の崩壊につながることも想定されます。診療報酬の改定、圏域内の診療人口の減などにより、病院経営はかつてない厳しい状況が続いており、庄原市の全面的な支援、市民の皆さんのご理解をいただき、施設整備を進めていきたいと考えています。

れる「二次救急指定病院」として、土日や祝日に関わらず24時間365日市民が受診できる態勢を取っていたにいたります。また、災害時における患者の発生に対応していただく「災害拠点指定病院」に位置づけられているなど、救急医療・高度医療に対応できる総合病院として本市の中核病院の役割を担っていただいています。

市長は、地域医療を守り、安心社会実現のために、庄原赤十字病院の借入金など42億円の一部に対して

財政支援する方針を表明しています。現時点では庄原赤十字病院が、何年度にいくらか借り入れるのかなど、資金調達計画が最終的に決まっています。なので、具体的な支援内容については、これから調整していきます。市民の皆さんが心配されるのは市の財政状況だと思いますが、長期的な市の財政推計に基づく「庄原市長期総合計画の後期実施計画」へ計上し、財政の健全化を図りながら、市民の皆さんの安心安全な暮らしづくりを進めていきます。





# 「さい」発見

SATOYAMA-HAKU  
2010

## 庄原さとやま博 今秋スタート

商工観光課 ☎0824-73-1177

キーワードは、さとやまの「さい」発見



市や各観光協会などで組織する「庄原市観光キャンペーン実行委員会」は、庄原市の魅力を全国に発信する「庄原さとやま博」を今秋から開催します。

この催しは、パビリオンをつくって実施するのではなく、市全域を会場としてイベントなどを行い、四季を通じて集客を図るものです。「さとやま博」の開催により、幅広く地域の魅力を連携させ、周遊型観光・通年型観光の仕組みを確立することを目指します。

「さとやま博」は、市民の皆さんが主役のイベントです。庄原市ならではの「食べる」「買う」「学ぶ」などの体験メニューを商品化し、一緒に儲ける観光をつくりましょう。

### 市民が儲ける仕組みを支援

「さとやま博」は、観光を庄原市の産業として位置づけるための仕組みづくりを行うプロジェクトです。里山の地域資源を活用し、市民の皆さん自らの発想で、新たな庄原市の楽しみ方をプロデュースし、それを観光資源として商品化することで、儲ける仕組みの構築を目指します。

仕組みづくりの支援として、体験メ

### 「さとやま博」のプログラム

さとやま博のプログラムは、①里山イベント、②里山ツアー、③注目スポットの3つで構成します。

里山イベントでは、さとやま博のために特別に企画するイベントを行います。現在、備北フードフェスタなどの企画イベントを検討しています。また、里山を楽しむ体験メニューや、お通り、モーモー祭などの既存イベントも行いながら、他のプログラムと絡め

### 10月3日オープン

実りの秋を迎え、行業のベストシーズンとなる10月をオープニングの月とし、四季を通じて1年間開催します。期間は22年10月3日(日)～23年11月

て集客力アップを狙います。里山ツアーは、地域着地型のさとやまツアーの企画、各旅行会社のバスツアーの誘致を行います。注目スポットは、桜や紅葉などの観光地、温泉などの観光施設、おいしい食べ物などの情報を集約し、周遊コースの提案など、興味を持っていただければ幸いです。

30日(水)。主催は庄原市観光キャンペーン実行委員会、主管は庄原市観光協会連合会観光公社設立準備室が務めます。

【インタビュー】

## さとやま博を利用して、身近な地域資源のPRを



庄原市観光協会連合会  
観光公社設立準備室  
吉川 理恵 企画員

さとやま博の最大の目的は、さとやま博が終了した後も、見る・食べる・学ぶ・買う・泊まるなどのサービスが地域に根付き、市民の皆さんが儲ける観光を定着させることです。そのためには、市民の皆さんの協力や参加が欠かせません。

トで広報してもらえ、参加予約の受け付けを代行してもらえ、参加者のメロリットがあります。また、都市部の人に食べてもらう、買ってもらう仕掛けをして、地域にお金が落ちる仕組みを一緒に作っていききたいと思っています。最初から特別なことを考える必要はありません。農林業の体験をしてほしい、一緒に地域行事をしたいなど、ちよつとしたことから結構です。連絡をいただければ、一緒に体験メニューを考えていきたいと思います。

さとやま博は、庄原市の良さを全国に発信する大きなチャンスです。多くの市民の皆さんの参加をお待ちしています。

今、漬け物を漬けたり、農作業をしたり、神楽をしたり、市民の皆さんが行う普段の何気ない生活が観光資源になる時代です。私たちにとっては当たり前のことでも、都市部の人にとっては、価値があります。そんな身近な地域資源を一つ一つ見つめ直し、これをさとやま博の体験メニューにして、都市部の人にPRしていきたいと思っています。



### 「まち博」でイメージづくり

「さとやま博」をより具体的にイメージしてもらうため、各地域で開催されている「まち博」を紹介します。

#### 事例① かなざわ・まち博 (金沢市)

かなざわ・まち博は、市民が「まちに出る、まちで遊ぶ、まちに学ぶ」をテーマに、まちを構成するあらゆる組織、グループが共同して、まちのあり方を考え、その成果を発表し共有する場。「まちづくり運動」「ふるさと運動」としています。プログラムには、さまざまな講座や公演、イベント、ツアーなどが用意されています。

#### 事例② きたかた喜楽里博 (喜多方市)

既存のイベントや行事、体験メニューなどがプログラムとなっています。市町村合併後、旧町村単位でイベントや観光情報が独立してしまい、一体感がなかったため、喜楽里博の冠をつけて統一して紹介することでPR力を高めています。

#### 事例③ 南会津やまなみ泊覧会 (南会津町)

住んでいて楽しく、訪れた人々に「また来たい」と思ってもらえるような「人づくり」や「地域づくり」を目指し、潜在資源の掘り起こしや既存資源を活用した住民主導による地域づくり型泊覧会です。

地域資源を活用した体験メニューの開発などに補助金を交付し、自立可能な観光産業の仕組みづくりに取り組んでいます。



まち博のパンフレット

## 募集します

### マスコットキャラクター

「さとやま博」のシンボルとなるマスコットキャラクターを募集します。最優秀作品1点には、賞金5万円を贈呈します。ただし高校生以下は5万円分の図書券になります。

### キャラクターの基準

- 庄原のさとやまのイメージにふさわしいもの
- 大人から子どもまで親しみやすいもの
- テーマ、コンセプトによっては複数キャラクターも可

募集締切 4月30日(金)消印有効。応募用紙に必要事項を記入し、郵送・Eメール(kanko@shobara.net)でお送りください。

### 申し込み・問い合わせ

観光公社設立準備室  
☎0824-72-3385  
商工観光課 ☎0824-73-1177





# 庄原市補助金ガイド

## あなたの暮らしや地域づくりを応援します。

庄原市には、市民の皆さんの生活をはじめ、産業活性化や地域づくりなどを応援する補助事業が多くあります。その中から、今月は「知っておきたい」今年こそ活用したいという補助金をピックアップして紹介します。

※ここに掲載する内容は、補助金概要の一部です。採択要件など詳しくは担当課で確認をしてください。

### 生活環境の改善を支援

#### 生ごみ処理容器等購入補助金

一般家庭から排出される生ごみの減量と資源化を図るため、生ごみ処理容器および生ごみ処理機を購入、設置する方に補助金を交付します。

補助金 購入費の1/2で、上限は1万6千円。

問い合わせ 環境衛生課環境衛生係 (0824・72・1398) または各支所環境建設室

#### 飲料水供給施設整備費補助金

飲用水が不足する地域で、ポリング方式などにより水源を整備される方に補助金を交付します。

※対象地域は、庄原市水道事業給水区域および簡易水道給水区域内の給水

可能区域以外で、生活のための飲用水が不足している方。

補助金 対象経費の1/2以内で、上限は40万円。

問い合わせ 環境衛生課環境衛生係 (0824・72・1398) または各支所環境建設室

#### 住宅用太陽光発電システム等設置補助金

自然エネルギーの積極的な利用と地球温暖化防止を図るため、住宅用太陽光発電システムなどを設置される方に補助金を交付します。

補助金 太陽電池モジュール1kWあたり3万5千円で、上限は14万円。省エネ設備を併せて整備されると、さらに7万円。

問い合わせ 環境衛生課環境衛生係 (0824・72・1398)

#### 生活道整備補助金

生活道(国道・県道・市道以外)の改

良または舗装に対して補助金を交付します。申請期限は5月末。

補助金 事業に要する経費と、市が定める工事費用を比較し、いずれか低い額に40%を乗じた額。1カ所当たりの上限は64万円。

問い合わせ 建設課管理係 (0824・73・1150) または各支所環境建設室

#### 木造住宅耐震改修促進補助金

木造住宅の耐震診断、耐震改修工事に対して補助金を交付します。

補助金 耐震診断は、診断費用の2/3以内で、上限は4万円。耐震改修工事は、工事費用の1/3以内で、上限は40万円。

問い合わせ 都市整備課建築係 (0824・73・1151)

#### 新婚世帯家賃支援補助金

民間賃貸住宅に居住する新婚世帯(平成21年4月1日以降に婚姻届提出した方で、夫婦ともに40歳未満)を対象として、人口減少の著しい若年層の市内への定住と、経済的支援を目的として、家賃・通勤経費の一部を補助します。

補助金 実質家賃負担額から3万円を控除した額で、上限は2万円/月。市外通勤の方には通勤加算として3千円/月。期間は24カ月です。

問い合わせ 商工観光課観光定住係 (0824・73・1179) または各支所地域振興室

#### 空き家活用改修費補助金

地域資源である空き家の有効利用と定住の促進を図るため、空き家を取得および改修し、本市へ定住しようとする方に補助金を交付します。

補助金 直接経費の1/2以内で、上限は200万円。

問い合わせ 商工観光課観光定住係 (0824・73・1179) または各支所地域振興室

### 農家経営をバックアップ

#### がんばる農業支援事業補助金

市が推進する農業自立振興プロジェクトによる農業振興を図り、「農業所得10%アップ」を実現するための機械施設などの整備について、本市で農業経営を行う農業者に補助金を交付します。

対象事業 ①他の補助事業の対象とならない農畜産物生産を行うための機械施設の整備事業。

②高付加価値化による農畜産物の販売拡大のための開発経費および加工する機械施設の整備事業。

③家畜自給粗飼料生産に係る農機具などの整備事業。

補助金 対象事業に要する経費の1/3以内で、農業者1人当たりの事業費上限額は100万円。

問い合わせ 農林振興課農業振興係 (0824・73・1132) または各支所地域振興室

#### 堆肥利用促進事業補助金

家畜ふん堆肥を購入し、農作物の生産に使用している農業者などに補助金を交付します。

補助金 バラ売り堆肥は購入経費の1/2以内、または1ト当たり1千円のいずれか低い額。袋詰め堆肥は購入経費の1/2以内、または1袋当たり100円のいずれか低い額。

問い合わせ 農林振興課畜産振興係 (0824・73・1227) または各支所地域振興室

#### 循環型農業推進土壌分析事業補助金

家畜ふん堆肥を利用し、農作物の生産をしている農用地の土壌分析費用を補助します。

補助金 農協へ委託して実施する土壌分析に要する経費の1/3以内。ただし、同一農用地は年2回まで。

問い合わせ 農林振興課畜産振興係 (0824・73・1227) または各支所地域振興室

#### 有害鳥獣防除事業補助金

イノシシ被害を防止するため、電気柵などを購入し設置する方に補助金を交付します。

補助金 電気柵などの原材料費の1/2以内で、上限は6万円。捕獲柵の上限は8万円。

問い合わせ 農林振興課畜産振興係 (0824・73・1227) または各支所地域振興室

### 地域農業の担い手を育成

#### 農業後継者育成事業奨励金

農業後継者の育成を推進するため、県立農業技術大学校や市内の農家などで1年以上の営農研修を行う方に研修奨励金を交付します。研修終了後、1年以内に市内で農業経営を開始し、5年以上継続する方です。

奨励金 月10万円で2年以内。

問い合わせ 農林振興課農業振興係 (0824・73・1132) または各支所地域振興室

#### かんたん就農塾

新規就農者を増やすため、県立農業技術大学校が主催する就農研修の受講者に対し受講料の一部を補助します。

補助金 対象経費の1/2以内。

問い合わせ 農林振興課農業振興係 (0824・73・1132) または各支所地域振興室

### 畜産経営をバックアップ

#### 家畜飼養施設増改築等支援事業

飼養規模拡大のために、市内の和牛、乳牛、豚を飼養する畜産農家が、畜舎や堆肥舎を新築・増改築する場合に、対象経費の1/3以内で補助します。新築や増改築の場合によって上限が異なります。

#### 和牛水田放牧促進事業

市内の和牛飼養農家が、市内の転作田へ和牛を放牧するために必要な電気柵の購入に要する経費の1/2以内を補助します。上限は一式7万円。

#### 家畜粗飼料生産利用促進事業

市内の転作田に家畜粗飼料を栽培する面積に対し、必要経費の1/2以内、または10aあたり1千円〜1万円を補助します。また、転作田で生産された家畜粗飼料を利用した場合、自家消費を除き、必要経費の1/2以内、または10aあたり3千円を補助します。

問い合わせ 農林振興課畜産振興係 (0824・73・1227) または各支所地域振興室



# あなたの暮らしや地域づくりを応援します。

## 繁殖用和牛増頭推進事業補助金

優秀基礎牛または基礎牛を導入・保留する農業者などに、補助金を交付します。  
補助金 増頭1頭当たり7万円以内など。

問い合わせ 農林振興課畜産振興係  
(☎0824・73・1227)または各支所地域振興室

## 共同飼育和牛導入事業補助金

市内で3戸以上の農業者が組織する農業団体に、共同で飼養する繁殖用和牛の導入経費を補助します。

補助金 6頭(新規は3頭)までは1頭当たり10万円が上限。7頭(新規は4頭)以上は1頭当たり20万円が上限。  
問い合わせ 農林振興課畜産振興係  
(☎0824・73・1227)または各支所地域振興室

## 共同飼育施設建設事業補助金

市内で3戸以上の農業者が組織する農業団体に、牛舎・堆肥舎の建設経費を補助します。

②空き店舗等活用創業支援事業  
空き店舗を活用して、小売業・一般飲食店などを新たに創業する場合、その店舗借上料と改装費の一部を補助します。

借上料補助 借上料の1/2以内で、上限は月額4万円。(2年以内)  
改装費補助 改装費の1/3以内で、上限は50万円。  
③まちなかイベント事業(事業費補助)  
まちなかを活性化しようとするイベントの事業費の一部補助します。  
事業費補助 対象経費の1/2以内で、上限は40万円。

④店舗改装支援事業(改装費補助)  
小売業・一般飲食店などが老朽化した現在の店舗を改装する場合、その改装費の一部を補助します。  
改装費補助 改装費の1/3以内で、上限は50万円。

問い合わせ 商工観光課商工振興係  
(☎0824・73・1178)または各支所地域振興室

## 地域づくり 活動を支援

### 自治振興区活動促進補助金

地域課題の解決や、地域の夢の実現に向けて取り組む自治振興区を支援するため、地域振興計画に基づく事業

補助金 対象経費の1/2以内。ただし、堆肥舎の上限は17.5万円。  
問い合わせ 農林振興課畜産振興係  
(☎0824・73・1227)または各支所地域振興室

## 地域材活用で林業振興

### 地域木材住宅建築普及奨励金

木材の地産地消と住宅関連産業の活性化を図るため、地域木材を使用して住宅を新築または改修する方に奨励金を交付します。

#### 対象住宅

- ①木造住宅
- ②主要構造部材等に地域材を使用し、その証明書を添付すること。(現地調査による確認を実施します)

#### 奨励金

地域材の使用量	奨励金の額
2m <sup>3</sup> 以上5m <sup>3</sup> 未満	10万円
5m <sup>3</sup> 以上10m <sup>3</sup> 未満	20万円
10m <sup>3</sup> 以上20m <sup>3</sup> 未満	40万円
20m <sup>3</sup> 以上	60万円

※地域材の使用量に応じて金額が変更します。

問い合わせ 農林振興課林業振興係(☎0824・73・1227)または各支所地域振興室

を実施する自治振興区に補助金を交付します。申請期限は5月末。

補助金 対象事業費の4/5以内で、上限は1事業につき300万円。(定住促進事業の上限は100万円)  
問い合わせ 自治振興課(☎0824・73・1209)または各支所地域振興室

## 地域づくりリーダー育成事業補助金

住民自治を担う地域づくりリーダーの育成を図るため、自治振興区活動など地域づくり活動を実践している方の研修などに補助金を交付します。

補助金 補助対象経費の3/4で、限度額は5万円。  
問い合わせ 自治振興課(☎0824・73・1209)または各支所地域振興室

## 地域ごみ集積所設置補助金

地域の環境・景観を保持し、公衆衛生の向上を図るため、地域が一体となって新たにごみ集積所を整備する地域に、補助金を交付します。

補助金 対象経費の1/2以内で、上限は4万円。  
問い合わせ 環境衛生課環境衛生係  
(☎0824・72・1398)または各支所環境建設室

## ペレットストーブ等購入促進補助金

森林資源を有効活用し、環境にやさしいまちづくりを進めるため、ペレットストーブやペレットボイラーを購入する方に補助金を交付します。

補助金 ペレットストーブは対象経費の1/3、ペレットボイラーは対象経費の1/3で、上限は12万円。  
ペレットボイラーは対象経費の1/3で、上限は50万円。

問い合わせ 政策推進課木質バイオマス係(☎0824・73・1113)

## 地域に喜ばれるビジネスを支援

### 庄原市起業支援補助金

地域資源の活用や地域課題の解決、地域への経済的な波及効果など、地域を元気にする」という目的を、ビジネスの手法で解決をすることを目指す事業に対して支援します。

対象事業 地域資源の活用、地域の課題解決の視点からの着想で、地域への貢献度、

## 防犯灯設置補助金

住民生活の安全確保と地域福祉の向上を図るため、防犯灯を設置する自治振興区、自治会などに補助金を交付します。

補助金 専用柱を設置しないときは、1基当たり1万円。専用柱を設置するときは、1基当たり対象経費額と2万円のいずれか低い額。  
問い合わせ 市民生活課生活安全係  
(☎0824・73・1154)または各支所市民生活室

## 農林施設整備

地元受益者が実施する農林施設(農道や林道など)の基盤整備事業に対して補助金を交付します。申請期限は5月末。

補助金 事業に要する経費と、市が定める工事費用を比較し、いずれか低い額に25%を乗じた額。1カ所当たりの上限は37万5千円。  
問い合わせ 農村整備課管理係(☎0824・73・1137)または各支所環境建設室

# 補助金活用のポイント

The point of the subsidy practical use

- 申請してみたい補助金があれば、「採択要件は?」「申請期限は?」など、お早めに担当課へお問い合わせください。申請期限が5月末のものや、限られた予算の範囲内で交付するものがあります。
- 申請しよつとする事業が、補助金の定義・目的と一致しているか、事業の展開が明確で計画に具体性があるか確認しましょう。
- 経費が補助対象になつていないか確認し、経費の見積書はできるだけ細かくとりましよう。また、ほとんどの補助金は事業が完了してから支払うことになり、立て替え払いが必要になります。
- 書類の不備や指摘事項がないか、事前に内容を担当課で確認し、申請書類は期限内に余裕をもって提出しましょう。期限以降の差し替えは原則できません。



# 夢と希望を与えた 6人を表彰

ふるさと功労賞授与式

総務課人事秘書係 ☎0824-73-1125

市は3月8日、庄原市ふるさと功労賞授与式を庄原市役所で開催しました。  
ふるさと功労賞は、文化、スポーツ、社会貢献などで市民生活に夢と希望を与え、庄原市の名を高めた方を顕彰する制度として平成20年度に制定しました。  
今回は、農業や農民文学の振興に多大な貢献をされた方と、スポーツの全国大会などで極めて優秀な成績を収められた5人を表彰しました。  
滝口市長は「信念をもって一つの道を貫き、素晴らしいご功績をあげられたことに、心より敬意を表します」とあいさつ。授与式に出席された4

人に、賞状と記念品の盾が手渡されました。

## 庄原市ふるさと功労賞受賞者

(氏名 五十音順 敬称略)

### 文化功労

田中 虎市(高茂町)

### スポーツ功労

金藤 理絵(神奈川県秦野市・山内町出身)  
佐倉 康隆(小用町)  
谷口 裕基(本村町)  
藤川 拓也(三次市・水越町出身)  
松井 智靖(高町)



当日出席した受賞者とその家族など

Keep the manner

## 困っています。 公園のマナー違反



都市整備課管理係 ☎0824・73・1172

多くの方々に憩いの場として利用されている公園。  
ここ最近、芝生内で犬を散歩される一部の飼い主のマナーの悪さから、芝生内で犬の糞が散見され、そこで遊ぶ子どもたちにとって不衛生な状態になっています。  
公園の利用にあたっては、マナーを

## 公園内で犬の散歩をする 場合のマナー

- 散歩の際には、必ずリードを付けてください。
- 芝生内には犬を入れないでください。(芝生内は、小さい子どもが裸足で遊ぶ場合があり、犬が芝生内に入ると犬が糞尿を排泄し、利用者から不衛生だと苦情が出ています)
- 犬の糞は、必ず飼い主で処理をしてお持ち帰りください。尿はペットボトルなどに用意した水で流してください。



上野総合公園陸上競技場内の芝生広場で遊ぶ子どもたち



## みんなの力で 美しいまちづくり

建設課管理係 ☎0824・73・1150

市道などの美化活動について、自治会などを中心に多くの皆さんにご協力をお願いしています。

「年を取って草刈りは大変だが、できる範囲でがんばるよ」

こうした市民の皆さん一人一人のおかげで、美しい庄原市が実現できています。

いつも、感謝しています。ありがとうございます。

## 河川道路美化活動保険

〔庄原市〕

市は、参加者の皆さんに安心して活動していただくため、自治会や地域の団体が主催する美化活動に対して、保険制度を設けています。  
市が保険料を負担し、活動中のけがや事故に備えます。

### ●対象活動

市が管理する河川(普通河川)と道路(市道・農道・林道)で行う、清掃・草

刈り・植栽などの美化活動。

### ●対象者

河川道路活動計画書を提出された団体の活動参加者。

### ●保険内容

活動中のけがや事故の傷害・賠償補償。入院は1日3千円、通院は1日2千円など。詳しくはお問い合わせください。

### ●申し込み

活動する15日前までに、河川道路美化活動計画書を建設課または各支所環境建設室へ提出してください。なお、毎年、申し込みが必要です。

## 市道草刈り交付金

市は、市道の草刈りを地域ぐるみで実施された地域団体に対して、片側延長1キロにつき7千円の交付金を交付する制度を設けています。

### ●受付期間

4月22日(木)～5月31日(月)

### ●申し込み

受付期間内に、建設課または各支所環境建設室へ申請書を提出してください。申請書は、各担当課にあります。

## 県アダプト 活動団体募集

県は、県が管理する道路(100以上)・河川(50以上)で、清掃・緑化・草刈りなどの活動を行う団体を募集しています。

平成22年度支援事業の説明会を4月28日(水)に県北部建設事務所庄原支所で開催します。

※アダプト活動は、アダプトが「養子縁組をする」という趣旨から、住民などが主体となって清掃・緑化活動などを中心に公共空間をわが子のように面倒をみていく活動をいいます。

### ●県の支援

- ①希望する団体に団体名や企業名を記した表示板(アダプトサイン)を設置
- ②活動に伴う傷害・損害賠償保険の加入
- ③活動経費の一部を支援(活動奨励金の交付)

### ●問い合わせ

広島県土木局土木整備部道路河川管理課 ☎082・228・2111(代表)  
詳しい情報は県ホームページで  
<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/page/1201591144712/index.html>



市街地の美化活動



# 国民年金 届け出は 忘れずに

保健医療課 国保年金係  
☎0824-73-1158

**目** 本に住所のある20歳以上60歳未満の方はみんな国民年金へ加入し、保険料を納めることが義務となります。国民年金の加入者のことを「被保険者」と呼び、3つの種別に分けられます。

国民年金保険料の納め方は、その種別によって異なるため、異動するたびに届け出が必要です。自分自身の年金記録をきちんとつなげていくために、これらの届け出は忘れずに行いましょう。

## 加入者の種別は3つ

- **第1号被保険者**／自営業、学生、無職の方など(第2、第3号被保険者に該当しない方)
- **第2号被保険者**／会社員や公務員など(厚生年金制度や共済年金制度)

に加入している方)  
● **第3号被保険者**／会社員や公務員など(第2号被保険者)に扶養されている配偶者  
第1号被保険者のことを「国民年金加入者」と呼ぶことがあります。第2号被保険者も第3号被保険者も、国民年金加入者であり、保険料を納めています。

## 種別ごとの納付方法

- **第1号被保険者**／日本年金機構から送付される納付書または口座振替やクレジットカード納付など、一人一人が自主的に納めていく必要があります。
- **第2号被保険者**／加入している年金制度から拠出金として国民年金制度にまとめて支払われますので、個人で納める必要はありません。(厚生年金や共済年金の保険料は給料などから差し引かれます。)
- **第3号被保険者**／配偶者の加入している年金制度から拠出金として国民年金制度にまとめて支払われますので、個人で納める必要はありません。

## 市役所へ届け出が必要な場合

第2号被保険者が勤め先の会社を退職したり、第3号被保険者が配偶者

の扶養から外れたりして、第1号被保険者に変更となる場合は、国民年金保険料を個人で納付するための切り替えの届けが必要で、  
その他、第1号被保険者の住所や氏名が変更になったときなど、左表のよう な場合には市役所へ届け出が必要 です。

## 市役所へ届け出が必要となる時

こんなとき	手続き内容	手続きに必要なもの
● 勤め先を退職したとき (厚生年金、共済組合を脱退したとき)	第1号被保険者へ切り替えをします。 (国民年金保険料の納付を個人納付へ切り替えます)	①年金手帳 ②退職した年月日が分かる書類 ③印鑑
● 会社勤めをしている (厚生年金や共済組合に加入している)配偶者の扶養から外れたとき	第1号被保険者への切り替えをします。 (国民年金保険料の納付を個人納付へ切り替えます)	①年金手帳 ②扶養から外れた年月日が分かる証明書 ③印鑑
● 20歳になったとき (厚生年金や共済年金に加入していない場合)	国民年金への加入手続きをします。 (20歳の誕生月の初旬に、年金機構から国民年金加入の案内が届きます。1日生まれの方は前月の上旬になります)	①案内がすでに手元に届いている場合はその文書 ②印鑑
● 他の市町村から転入したとき	住所変更の手続きをします。 (納付書や各種案内の送付先となります)	①年金手帳 ②印鑑
● 庄原市内で転居したとき		
● 氏名が変わったとき (婚姻、離婚、養子縁組など)	氏名変更の届けをします。	①年金手帳 ②印鑑

※印鑑は認印でかまいません。

**22年度の保険料は1万5100円**  
国民年金保険料は、平成29年まで段階的に毎年引き上げられることになっています。平成22年度の国民年金保険料(平成22年4月分〜平成23年3月分)は月額1万5100円で、昨年より440円引き上げられています。

# 国保 保険証の 切り替えは お早めに

保健医療課国保年金係  
☎0824-73-1158

**4** 月は就職や退職、就学などによる異動がもっとも多い月です。

職場の健康保険への加入や脱退をしたときは、14日以内に必要書類をそろえて国民健康保険の脱退や加入の手続きをしてください。保険証の切り替えが遅れると、国保税が課税されたままになり、さかのぼって国保に加入したときは、それまでの保険税をまとめて納付しなければならなくなる場合があります。

また、異動の届け出をしないまま資格期間のない保険証で医療機関にかかると、保険給付を誤って受けてしまうことになり、医療費の清算をしなければならなくなり、自分の加入している保険制度をしっかりと把握して、正しい保険証で医療機関にかかるようにしましょう。

	こんなとき	これを持って市役所へ
加入するとき	他の市町村から引っ越してきたとき	他市町村の転出証明書・印鑑
	職場の健康保険をやめたとき	職場の健康保険をやめたことの証明書・印鑑
	職場の健康保険の被扶養者でなくなったとき	被扶養者でなくなったことの証明書・印鑑
	子どもが生まれたとき	保険証・母子健康手帳・印鑑
国保をやめるとき	他の市町村に引っ越すとき	保険証・印鑑
	職場の健康保険に加入したとき	職場の健康保険の保険証・国保の保険証・印鑑
	職場の健康保険の被扶養者になったとき	職場の健康保険の保険証・国保の保険証・印鑑
その他	住所、世帯主、氏名が変わったとき	保険証・印鑑
	就学のため、別に住所を定めるとき	保険証・在学証明書・印鑑

※印鑑は認印でかまいません。

手続き先 市民生活課戸籍住民係または各支所市民生活係

## 届け出が必要な事例

届け出は14日以内

## Strategic project

# 重点戦略 プロジェクトを強化

## 22年度組織・機構の見直し

企画課企画調整係  
☎0824-73-1128

市は、新たな市民ニーズや行政課題に機能的・効率的に対応するため、市の組織・機構の見直しを行いました。22年度は、重点戦略プロジェクトなど長期総合計画後期実施計画の円滑な執行と、事業効果を高める体制にしています。

## プロジェクトの推進体制を充実

農業自立振興プロジェクトは、生産から販売まで一体的に施策展開が図れる体制とするため、農林振興課の所管とし、政策推進課で行ってきた事務を農業振興係へ移管します。木質バイオマス活用プロジェクトは、政策推進課に「木質バイオマス係」を新設し、担当を明確にして事業を推進します。

観光振興・定住促進プロジェクトは、観光振興・定住促進などを「観光定住係」、企業誘致などを「企業立地係」が所掌します。「庄原さとやま博」は、担当主幹を配置し推進します。

## その他の主な変更点

- 危機管理・防災体制の強化を図るため、総務課に危機管理担当主幹を新たに配置。また、選挙係は危機管理係を併任します。
- 地域主権に対応する政策法制体制を強化するため、総務課に法制係を新設します。
- 保育所の新設や整備、指定管理者制度の導入など、保育所関係業務の体制を強化するため、女性児童課に施設管理係を新設します。
- 建設課所管の事業用地取得に係る事務の一部本庁集約、未登記物件の計画的整理に向けた体制を強化するため、建設課に用地係を新設します。
- 係統合による事務の効率化を図るため、企画課地域振興係を企画調整係へ統合、水道課業務係を庶務係へ統合します。
- 建設課へ事務の一部集約などにより、各支所環境建設室は、管理係と事業係を統合し、「環境建設係」1係とします。ただし、東城支所は、管理区域面積が広く、維持管理業務が広範囲であることから、現行体制を維持します。

※庄原市行政組織図は、4月号別冊の「各部署の配置と職員のご案内」に掲載しています。



- 対象  
市内に在住か通勤・通学するおおむね10人以上が参加するグループや団体。
- 時間  
原則として平日の9時から21時まで。2時間以内です。
- 会場  
申込団体、グループで準備してください。
- その他  
・開催を希望する日の2週間前までに申込書を企画課へ提出してください。申込書、メニュー一覧は、企画課と各支所、各公民館などにあります。また、市ホームページからダウンロードできます。  
・政治、宗教または営利を目的とした集会などは除かせていただきます。
- 問い合わせ  
企画課広報統計係  
☎0824-73-1159  
FAX 0824-72-3322

市民の皆さんに市政に対する理解と信頼を深めていただき、市民参加による開かれた市政を目的に、市職員が各地域に向向いて説明・懇談する「出前トーク」を実施しています。  
市政について「よく分からない」「もう少し内容を知りたい」という皆さん、ぜひご利用ください。

ご利用ください！



### 庄原市出前トークメニュー

区分	メニュー名	区分	メニュー名
環境	共に考えよう「ごみの減量化とリサイクル」	防災安全	災害に備えて
議会	市民と議会		耐震診断および耐震改修 (新)
生活一般	固定資産税のしくみ	福祉・健康	後期高齢者医療制度について
	悪質商法の手口と対処法		特定健診・特定健康指導について
	安全意識を高めよう防犯対策		介護保険制度について
	「市民タクシー」について (新)		地域福祉計画について (新)
自治振興区による地域づくり	見守りネットワークについて		
まちづくり	都市計画について	心とからだの健康づくり	
	庄原市内の主要な道路整備について	原爆被害者援護について (新)	
	わたしらしく輝くあしたのために～「男女共同参画」はなぜ必要 (新)	DV(ドメスティック・バイオレンス)を知っていますか (新)	
人づくり	まちづくりに女性の力を～女性の「参画」を考える (新)	市政	感動！観光振興プロジェクト
	パソコンで情報発信		待っとなるよ！庄原定住プロジェクト
	集落農場型農業生産法人について		農業自立振興プロジェクト
産業	農業に関する助成制度	地域情報化の推進について	
	森づくり事業について	観光・余暇	庄原市の観光について
	まちなか活性化事業について	文化	庄原市の文化財

※出前トークメニュー(94項目)を一部抜粋して紹介します。メニューにないものでも可能です。ご相談ください。(新)：新規メニュー

## 在宅高齢者 紙おむつ購入助成券を交付



市は、紙おむつを必要とする重度の要介護者を在宅で介護している同居家族などに対して、その経済的負担の軽減を図るため、在宅高齢者紙おむつ購入助成券を交付しています。

交付枚数(一枚3千円分)

- ① 4月から6月まで 25枚
- ② 7月から9月まで 20枚
- ③ 10月から12月まで 15枚
- ④ 1月から3月まで 10枚

### 在宅高齢者の該当要件

- ① 紙おむつを必要とする状態にある市民(市内に居住していること)
- ② 申請時に、要介護認定で要介護3・4または5と判定されている人

### 交付対象者

該当要件の①、②に該当する人を在

### 申請方法

印鑑を持参し、高齢者福祉課介護保険係または各支所保健福祉担当室へ申請書を提出してください。(申請書は高齢者福祉課介護保険係・各支所・市内居宅介護支援事業所にあります。申請には居宅介護支援事業者などの確認印が必要です)

### 問い合わせ

高齢者福祉課介護保険係  
☎0824-73-1167

### Relief security days

## 安心・安全な毎日のために

## 火災が春に集中 たき火に注意

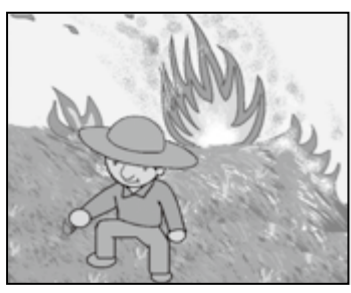
庄原消防署 ☎0824-72-9911  
東城消防署 ☎08477-24005

### 身を守るために

- たき火などは炎がよく見える夕方から行い、炎から目を離さないこと。
- 一人で作業をしないこと。
- 燃え移りにくい衣服で作業をすること。
- 万一火事になっても、一人で無理に消そうとせず、助けを呼びましょう。

### 火災を防ぐために

- 枯れ草などのある火災が起こりやすい場所では、たき火をしないこと。
- たき火など、火気の使用中はその場所を離れず、使用後は完全に消火すること。
- 強風時や乾燥時には、たき火・火入れをしないこと。
- たばこは指定された場所で喫煙し、吸いながら必ず消すとともに、投げ捨てないこと。
- 火遊びはしないこと。



平成22年山火事予防統一標語  
消さないで 小さな命の 帰る場所





総領自治振興センター

移行前	移行後施設名	指定管理者
口和公民館	口和自治振興センター (ヒューマンライツ)	口和自治振興区
総領公民館	総領自治振興センター (総領文化会館)	総領自治振興区
八幡公民館	八幡自治振興センター	八幡自治振興区
帝釈公民館	帝釈自治振興センター	帝釈自治振興区

**自治振興**  
口和、総領、八幡、帝釈の4公民館が、4月から自治振興センターに移りました。

自治振興センターは、自治振興区活動の拠点として、これまでの自治振興区活動と公民館活動を二元化し、ヒト・モノ・カネ・情報を有効活用することによって、自治振興区の機能強化を目指すものです。

**自治振興**

**自治振興区の機能強化を目指す  
4公民館が自治振興センターに**

口和、総領、八幡、帝釈の4公民館が、4月から自治振興センターに移りました。これに伴い、口和地域で9、総領地域で7の自治振興区が、それぞれ1つに再編されました。

自治振興区は、施設の指定管理を受け、事務職員を雇用し、自治振興センターを中心とした広域的な地域活動、生涯学習活動に取り組めます。



見守り対象者を選定する関係者

**福祉**

**独居老人の安心生活を支援  
安心生活創造モデル事業3地区でスタート**

市は、一人暮らしの高齢者を地域で見守る「安心生活創造モデル事業」に取り組んでいます。

これは、国が全国で55市町村を選定した「地域福祉推進市町村」の一つに庄原市が選ばれたことがきっかけ。このモデル事業では、一人暮らしの高齢者などが地域で安心して暮らせるよう、訪問員が有料で見守りや安否確認、買い物の手伝いなどを行います。

**新副市長が決定**



たか はし とし あき  
高橋利彰 副市長

江角忠也前副市長の辞職に伴い、後任の副市長として高橋利彰氏が3月25日の3月定例会において選任同意を受け、決定しました。

高橋副市長の任期は、4月1日から平成26年3月31日までです。

副市長の条例定数は2人で、高橋氏は事業を担当する副市長となります。

**略歴**

昭和31年9月8日生まれ  
昭和52年3月 建設省に採用  
平成19年4月 国土交通省福山河川国道事務所副所長  
平成21年4月 国土交通省中国地方整備局道路部地域道路課課長

**健康広場**  
healthy column

「変形性膝関節症」

～病態と予防法について～



西城市民病院 理学療法士  
うみわき ともこ  
海渡 聡子

変形性膝関節症は加齢とともに罹患者が高く、悩んでいる方も多くおられると思います。今回は、予防法を中心に紹介します。

**変形性膝関節症とは？**

**症状は？**  
立ち上がりや歩き始めなどに膝に痛みを感じ、進行してくると膝の周りが腫れたり、水が溜まったりします。痛みの多くは膝の内側に起こります。

**原因は？**

加齢による筋力低下とそれに伴う姿勢変化や肥満による一次性、先天的形態異常や外傷による二次性があります。

これらの原因により関節構造が正常に保たれなくなると、膝に痛みが起これ膝に重要な筋肉に力が入りにくくなり、筋力が

低下し、さらに膝関節構造に異常を起これといった悪循環になります。

**治療法は？**

病状により治療方法は異なり、  
①保存療法(薬物療法、運動療法、装具療法)、②手術療法があります。

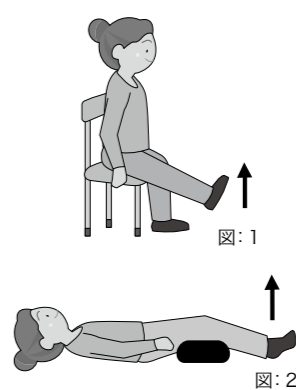
**変形性膝関節症の予防法**

**I. 筋力強化とストレッチ**

重要なポイントは、太もも前面にある大腿四頭筋を強化することと、後面にある大腿二頭筋と下腿三頭筋をストレッチすることです。

椅子に座って膝関節を片側ずつ伸ばし、同時に足首をおこして5秒間保つことで、それらの筋肉の運動ができます(図1)。座ってすることが難しい方は仰向けに寝て、膝の裏に枕などを置き、それを膝の裏で押しながら、同時に足首をおこしましょう(図2)。(注/腰部等に疾患がある場合の運動方法は専門機関へご相談ください)

その他、横向きに寝て上側の脚をあげることで、脚を支える



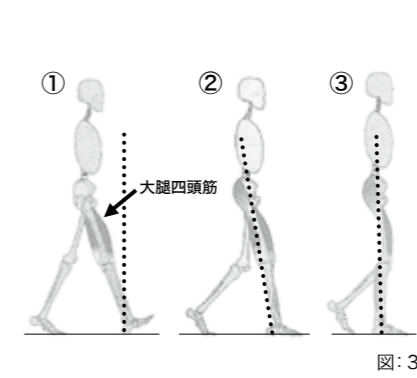
ための筋肉(中殿筋)を鍛えることができます。

以上、一般的な運動方法を紹介しましたが、その他にもさまざまな筋肉の訓練方法があります。また、個人に合わせた運動方法を取り入れたほうが良い場合もあります。

**II. 正しい歩き方**

日ごろから膝関節を大切にすするためには、正しい歩き方で脚の筋肉を有効に使うことです(図3を参照)。

①姿勢がゆがまないよう保ちながら歩くこと。  
②振り出した脚は、かかとから着地すること(大腿四頭筋の強化)  
③かかとが接地してから反対側の脚が前へ振り出されるまでの間に、上体が接地した脚の真上に移動するまでの間、膝



を伸ばしたままで維持すること(脊柱起立筋、大殿筋などの強化)。  
④肘は軽く曲げて前後に振りながら歩くこと。  
以上に気をつけてもらうことで重要な筋肉を鍛えながら歩くことができます。

ウォーキングシューズは、つま先が曲がりやすいものを選ぶと良いでしょう。

**III. その他の予防法**

肥満は、関節への負担が増すので、体重管理に心がけましょう。痛みがある場合、長時間のウォーキングは避けて関節に負担のかからない運動をしましょう。プールの中での運動がお勧めです。





## リニューアルした診療所をPR

帝釈診療所で健康講座

REPORT ③



▲熱心に話を聞く帝釈老寿会「よるずや友愛サロン」の会員

昨年7月に改修工事をした帝釈診療所の利用を呼びかけようと「健康講座」が2月25日、帝釈診療所で開かれました。この講座は、庄原赤十字病院の出前講座を利用し、内科医師の大野敦司先生が「高齢者が気をつける病気」と題して講演。参加した地域住民20人は、高齢者の病気の特徴や、病気を早期発見する自己チェックなど熱心に聴講しました。帝釈診療所は市が直営していますが、業務は庄原赤十字病院へ委託。毎週木曜日の10時～12時と13時～14時に、庄原赤十字病院の内科医師や看護師、検査技師など充実したスタッフが診療にあたっています。昨年の改修工事では、診療所の床の張り替えや段差解消、トイレや洗面台の改修などを行っています。

REPORT ④

## 感謝の気持ちを込め振る舞う みどり園保育所「お茶会」

口和町のみどり園保育所の年長児6人が3月3日、保護者を口和郷土資料館の茶室に招き、「お茶会」を開きました。1年間「マナーデー」としてお茶の作法を習ってきた成果を披露しようと、園児自らがお茶をたて、前日に作った「ほとぎ」を一緒に出して、保護者をもてなしました。園児が恐る恐るお茶碗を運ぶ様子に、保護者はそわそわしながらも、ほんのり甘い「ほとぎ」としっかりとたてたお茶をいただき、味わい以上の喜びを感じていました。終始緊張した面持の園児は、小森鈴江所長から1年間学んだ「おしるし」を手渡され、無事にお茶が振る舞えた喜びから、ようやく普段のかわいらしい笑顔がこぼれました。



▲1年間の成果をお母さんに披露

## パネルでひな人形気分を味わう

東城子育て支援センター「ひなまつり」

REPORT ⑤



▲パネルに顔を出して遊ぶ子ども

未入所児を対象にした「ひなまつり誕生会」が3月3日、東城子育て支援センターで開催され、親子連れなど30人が参加しました。桃と橘の絵に、子どもたちが桃の花やみかんのカードを貼り付けて、ひな飾りを作りました。また、お内裏様・お雛様の顔出しパネルに、顔を出して記念写真に納まりました。お土産に、まめになるようにと、蒸した「はなまめ」にチョコレートをコーティングしたお菓子をもち帰りました。参加者は「家でするひなまつりと違い、たくさんのお友だちと一緒に歌を歌ったり、ひな飾りを作ったり楽しかった」「お内裏様に変身していい記念になった」と話していました。

## 観察会やバザーでにぎわう

里山の春を感じる「節分草祭」

REPORT ①

総領町の節分草祭が3月7日、道の駅リストア・ステーションで開催されました。イベントでは、節分草自生地を巡る観察会や、節分草俳句会などが行われ、市内外から多くの観光客が訪れました。案内所では、ボランティアガイド「花守り」の桑田健吾さんが節分草の生態について講演。その後、参加者



▲節分草をカメラに収める観光客

と一緒に2カ所の自生地を散策しました。参加者は、周辺の山野草についても説明を受け、多くの山野草が残る総領町の自然を満喫しました。会場では、自治振興区や地域団体の出店が並び、特産品を買い求める人でにぎわいました。



▲特産品などの販売でにぎわう

REPORT ②

## 20回記念 ダンスや合唱華やかに けんみん文化祭備北地区フェスティバル

第20回けんみん文化祭備北地区フェスティバルが2月28日、庄原市民会館で開催されました。けんみん文化祭は、広島県の豊かな自然と伝統に育まれた文化の継承、発展を図ることを目的に、県民の文化活動の発表、交流の場として平成3年から毎年開催されています。大会には、備北地区で文化活動に取り組む団体の中から、33団体約330人が出演。合唱、大正琴、ダンスなど、日ごろの活動の成果を披露し、会場からはたくさんの拍手が鳴り響きました。今回は、第20回大会を記念して、「エミッションスタジオ」総勢70人によるダンスと、今大会のために結成された「フェスティバル記念合唱団」125人による合唱が披露され、フィナーレは会場全員で「ふるさと」を大合唱し、盛会のうちに終了しました。なお、備北地区フェスティバルは秋に

開催されるけんみん文化祭の地区予選も兼ねており、備北地区から17団体、うち市内団体7団体が推薦されることになりました。



▲第20回フェスティバル記念合唱団



REPORT ⑨

患者の負担軽く精度もアップ  
県北初の高性能CTを日赤が導入

庄原赤十字病院が2月26日、X線で臓器などを立体画像で写し出し、狭心症などを早期発見できる最新鋭の「64列CT装置」の稼動をスタートしました。今回導入したCT装置は、X線管状1回転で最小0.625ミリの薄い断層像を64枚撮影することができます。回転数が速いほど、ぶれない鮮明な画像を写し出せることから、動いている臓器の撮影に威力を発揮。これまでの冠状動脈検査は血管内に管を通すカテーテル検査が主流で、しかも従来機(4列)を使用するときには息止めも20秒間かかっていましたが、今回の新機種「64列」では息止めも約5秒で済み、カテーテル検査の必要もなくなりました。循環器科の杉野浩部長は「カテーテル検査は入院が必要だったが、今後は外来診療で心臓の詳しいことが分かる」と話しています。



▲導入した高性能CT

アロマと温泉でぽっかぽか  
冬を楽しむ健康づくり講座

REPORT ⑩



▲足をマッサージする参加者

「冬を楽しむ健康づくり講座」が、比和温泉施設「あけぼの荘」で行われました。温泉施設を活用して寒い冬を元気に過ごそうと比和支所市民生活室が主催。2月2日～19日までの4回シリーズで、延べ35人が参加しました。講座では、アロマインストラクターの滝口季里花さんから、香りの効能を学んだり、芳香油で足をマッサージしたり、香りで全身の調子を整える方法を学びました。また、栄養士の指導でショウガジャムなど、体を暖めるおやつも作りました。参加者は「リラックスして楽しい時間が過ごせた。香りと温泉を組み合わせ、寒い冬を乗りきりたい」と話していました。

REPORT ⑪

旅立ちの日「食育」忘れんさんな  
卒業祝いにレシピ本を贈呈



▲卒業生代表にレシピブックを手渡す

東城町健康づくり推進員連絡協議会が2月26日、東城高校3年生42人の卒業をお祝いして、レシピブック「ひとりでも！クッキング」をプレゼントしました。これは、卒業後自炊を始める生徒が多い中で、これまでと同様に健康的な食生活を送ってほしいと、今回初めて行われました。木野谷幸子会長と松浦ヒサ子副会長は、「バランスよく食べるんよ」「ふるさと東城の味を忘れんさんな」など、推進員が書いた心温かい応援メッセージを添えて手渡しました。木野谷会長は「若者の食生活の乱れが指摘される昨今だけに、食事を大切に心身を健やかに保ち、夢を叶えてほしい」と話していました。

古民家で世代間交流  
高野の穴場で芋煮会

REPORT ⑥



▲八谷さんの昔話を聞く参加者

高野町の新たな魅力を発見しようと、上高公民館と高野里山倶楽部が2月21日、和南原地区の古民家で「芋煮会」を開催しました。市内各地の保育園児から高齢者まで約30人が参加。地元特産の高野ダイコンをはじめ、サトイモ、ゴボウなどの食材をふんだんに入れて、参加者全員で調理しました。地元料理人直伝のレシピで、しょうゆ味に仕上げた「芋煮」は、「大変おいしい」と好評。「古民家も穴場としてさまざまな利用が考えられる」と参加者は話していました。また、もみ殻を燃料とするかまど「すくもくど」で高野産コシヒカリを炊いたご飯も「香りがいい」と評判でした。食後、郷土史に詳しい八谷正夫さんによる高野の昔話や戦争体験などの話を聞いたり、和南原かるたで遊んだり、1日楽しく交流しました。

REPORT ⑦

「コツは愛情」地域から学ぶ  
美古登小そば打ち体験

美古登小学校4年生10人と保護者が2月18日、八鳥集会所に出かけて、地域の人とそば打ちを体験しました。今年で3回目となるこの行事は、美古登小学校が行う食育活動の一環で、八鳥自治振興区の男性料理教室やふれあいサロンのメンバーが指導。4年生が育てたそば粉6.5kgを使用し、約80食分のそばができてあがりしました。粉だらけになりながらそば打ちに挑戦した児童は「愛情を込めて打つことがコツと教わった」「そば粉をこねるところや、切るところが難しかったけど楽しかった」と話していました。八鳥自治振興区の藤田正雄会長は「子どもたちのやる気でコシのあるおいしいそばができた」と交流を喜んでいました。



▲コツを教わりそばをのぼす児童

巨樹の遺伝子を後世に  
県天然記念物の桜苗木が里帰り

REPORT ⑧



▲アースワーク公園に植樹

県天然記念物に指定されている「小奴可の要害桜」と「下領家のエドヒガン」の里帰り植樹が3月4日、東城町小奴可と総領町下領家で、それぞれ行われました。これは、巨樹の貴重な遺伝資源の減失を防ぐため、平成20年3月に市教育委員会が独立行政法人林木育種センターの「遺伝子銀行110番」へ、遺伝子のクローン増殖を依頼。今回、その増殖に成功し、クローン苗木として「小奴可の要害桜」10本と「下領家のエドヒガン」9本の里帰りが実現したものです。当日は、あいにくの雨模様でしたが、多くの地元関係者が参加し、盛大に植樹祭が行われました。総領町では地元のシンボルにしようと、アースワーク公園に植樹し、参加者は「親木と同様に数百年も元気で花を咲かせてほしい」と願っていました。



生活相談

身体障害者補装具判定会

〔聴覚〕 4月15日(木) 受付 13時～14時

● 庄原地域 4月20日(火)・5月4日(火) 13時30分～16時30分

人権相談(特設)

各地域で人権擁護委員が相談に応じます。

● 庄原地域

4月20日(火)・5月4日(火) 13時30分～16時30分

● 東城地域

5月6日(木) 13時30分～15時30分

● 西城地域

5月13日(木) 13時30分～16時30分

● 総領地域

5月10日(月) 9時～11時

庄原市消費生活センターをご利用ください

訪問販売や電話勧誘販売などによる契約のトラブル、多重債務など、消費生活に関する相談を消費生活相談員がお受けし、解決のためのお手伝いをしています。

● 桜町通りぼんぼり 東城川沿いの桜並木のぼんぼりに灯を灯します。

催し

● 旧暦ひな人形飾り 東城市街地の商店や民家に、各家に伝わるひな人形と春の香りを添える生け花が展示されます。

● 帝釈湖水開き 国定公園帝釈峡の観光シーズン幕開けにあたり行われる「安全祈願祭」。

● 定期巡回児童相談 北部こども家庭センターが子育てに関する相談に応じます。

● 庄原地域

4月15日(木)・5月20日(木) 10時～15時

● 東城地域

4月23日(金) 10時～15時

● 知的

5月10日(月) 13時30分～16時30分

● 障害者相談員定期相談会 〔庄原地域〕

● 春まつりコンサート Tipper's (ティップーズ)によるピアノ&歌

● 徳了寺本堂

夜灯りアートコンサート 本堂で奏でるアコースティックギターをお楽しみください。

● 帝釈湖水開き

国定公園帝釈峡の観光シーズン幕開けにあたり行われる「安全祈願祭」。

● 無料登記相談 4月1日は表示登記の日です。

● 無料法律相談室

民事(不動産、登記、金銭、交通事故、損害賠償など)

● 心の健康相談

ストレス、うつ病などの心の健康に不安のある方やその家族からの相談に応じます。

● エイズ検査・相談

検査は無料・匿名で受けられます。結果はその日に

● NIKKOの自慢が庄原市へ 市民会館で、人気番組「NHKのど自慢」公開生放送

● 2010 国勢調査

あなたの調査票には、日本の大切な未来がまつまっています。

● 子どもの自然体験塾

自然遊び・伝統遊び、自然学習を通して、子どもの生きる力を育てます。

● 七塚原自然体験活動 七塚原近郊の川・野山を五感を使って探索します。

● 多重債務相談 借金を抱え悩んでおられる方々のための「相談窓口」

● 募 集

● 高野草料理教室 七塚原の山野草を採取して、野外料理します。

● 高野草料理教室

七塚原の山野草を採取して、野外料理します。

● 高野草料理教室

七塚原の山野草を採取して、野外料理します。

● 高野草料理教室 七塚原の山野草を採取して、野外料理します。

● 高野草料理教室 七塚原の山野草を採取して、野外料理します。

● 高野草料理教室

七塚原の山野草を採取して、野外料理します。

● 高野草料理教室

七塚原の山野草を採取して、野外料理します。

● 高野草料理教室 七塚原の山野草を採取して、野外料理します。

2010 国勢調査 調査票





慰霊巡拝参加者募集

政府は、昭和28年から戦没者の遺骨収集に努力してきたところですが、すべての遺骨を完全に収集することは事実上不可能なことから、ご遺族のご要望に添えるため、旧主要戦域となった陸上および、遺骨収集の望めない海上などにおける戦没者への慰霊巡拝事業を行っています。

対象者

- ①慰霊巡拝を行う戦域における戦没者のご遺族【配偶者(再婚された方を除きます)・父母・子・兄弟姉妹】
②その他、健康状態など
対象地域
【旧ソ連】イルクーツク州／ザバイカル地方／アムール州／ハバロフスク地方
【中国】東北地区
【南方】インドネシア／東部ニューギニア／ミャンマー／マリアナ諸島／トラック諸島／フィリピン／ギルバード諸島／硫黄島
参加費用
所定の計算による旅費の3分の1が補助されます。
問い合わせ

社会福祉課障害者福祉係
0824731210

庄原児童合唱団員募集

合唱団では童謡・唱歌、アニメソングから合唱曲まで幅広いジャンルの歌を楽しみながら、表現する力や感動する心を育てます。年間を通じて、市の行事や地域のイベントなどに出演して活動の場を広げていきます。
とき 毎週土曜日
9時～10時30分
ところ
市民会館集会所
対象
幼稚園・保育所年長～小学6年生
会費 毎月2千円
申し込み・問い合わせ
団長 豊田菊江
0824724520

越原の春を食べる

ホウコウなどの野草餅つき体験、山菜の保存方法や調理体験ができます。この時期しか味わえない十数種類の山菜が楽しめます。
とき 5月2日(日)
10時～14時

ところ
ふれあいの里越原
定員 30人
参加費 2千円
申込締切 4月27日(火)
申し込み・問い合わせ
比和支所地域振興室
0824853000

県民の森イベント参加者募集

【中国山地の自然探訪】
県民の森ホテルに宿泊して、比婆山を中心に近郊の山々を訪ねてみましょう。
●比婆山の春と玉峰山
芽吹き前の春の比婆山と玉峰山の岩群と滝めぐり
とき
4月9日(金)～10日(土)
●帝釈峡の観察と船通山
帝釈のすばらしい草花観察とかわいいカタクリに逢いに行きましょう
とき
4月30日(金)～5月1日(土)
各プランの参加費
1泊3食
1人 1万500円
日帰り
1人 2千円
定員 25人
【親子探検隊No.1】
子どもの日バンザイ！キ

キャンプして溪流釣り体験だ！
とき 5月4日(火)、5日(水)
参加費
親子2人1組 1万円
1人増えるごとに5千円追加
定員 10組
対象 小学3年生以上
申し込み・問い合わせ
ひろしま県民の森公園センター
0824842011
※スケジュールなどの詳しい内容は、申込者に別途ご案内します。

世界一でかい夢提灯描き手募集

5月4日までに「世界一の夢提灯」を作ります。これは、周囲30mのハイヅカ湖を3万人の手と笑顔をつないで抱きしめる「抱きしめて笑湖ハイヅカ」のイベントの一つです。牛乳パックで紙すきした「専用の用紙(A4サイズ)に夢やメッセージを自由に描いてください。手紙、絵、書写真、版画、手形足形なんでもOKです。作品を提灯に貼り合わせます。
参加費 1枚1千円
(支援金として提灯の制作費に使用します)
募集枚数 200枚

申込締切 4月25日(日)
※資金不足のため、支援金のみ募集も受け付けています。「世界一の夢提灯」に力を貸してください。
申し込み・問い合わせ
わの里実行委員会 佐々木
0824887016

短歌に興味のある児童募集

「庄原子ども文学館短歌教室」を5月から開設します。言葉に思いをのせ、四季折々の自然を詠み、子どもの感動する心や観察する心を育てます。書くことの好きな子どもをお待ちしています。
とき 毎月第2土曜日
13時30分～15時30分
ところ
市民会館研修室
対象
小学校4年生～6年生
定員 若干名
会費 毎月1千円
申込締切 4月20日(火)
申し込み・問い合わせ
館長 清光康子
0824723048

その他

減免申請は毎年必要です 固定資産税・軽自動車税

次に該当する場合は、固定資産税・軽自動車税の減免を受けることができます。減免を受けようとする方は、毎年、納期限の7日前までに、税務課または各支所へ減免申請書を提出してください。第1期の納期限は5月31日(月)です。
●減免を受けられる固定資産
①生活のため、公私の扶助を受けている方が所有する固定資産
②公益のために直接専用する固定資産(有料の場合を除く)
③災害などで著しく価値が減少した固定資産など
申請に必要な書類など
①減免申請書
②印鑑
③その他減免を必要とする理由を証明する書類
●減免を受けられる軽自動車
①生活保護などを受けている方が所有する軽自動車。
②身体や精神に障害があり、歩行が困難な方が所有し運転する軽自動車。

③身体や精神に障害があり、歩行が困難な方のために生計を一にする方が所有し運転する軽自動車。
④身体障害者などの利用に役立てるため、車いすの固定装置や昇降装置などの特別な構造変更がされている軽自動車。
\*自動車税(県税)の減免を受けられる場合は、軽自動車税の減免は受けることができます。
申請に必要な書類など
①減免申請書
②身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳など
③運転免許証・印鑑・車検証
④その他減免を必要とする理由を証明する書類
問い合わせ
税務課資産税係
0824731144
http://www.jma-net.go.jp/hiroshima

気象警報を市町ごとに発表
気象庁では、より適切な、また利用しやすい防災気象情報の提供を目的として、5月27日(予定)から、気象警報・注意報を市町村単位で発表します。
例えば、庄原市に災害発生のおそれがある場合、こ



防災情報提供センター 携帯端末用QRコード

公共施設の管理者が変更 ー指定管理者制度ー

市は、利用者サービスの向上と管理運営コストの縮減を目指して、指定管理者制度を活用しており、4月からは、11施設が新たな指定管理者による管理運営となりました。

指定管理者の選定方法には、公募による場合と公募によらず地域の団体や市が出資する法人などを指名する場合があります。施設の規模や性格、機能に応じて適切な方法を判断しています。なお、どちらの場合も審査会や議会の議決を経て、正式決定しています。

新たな指定管理者による施設(自治振興センターを除く)

Table with 4 columns: 施設の名称, 指定管理者, 申込等問い合わせ先, 変更点など. Rows include 道後山高原合宿センター, 東城まちなか交流施設(えびす), 高野宿泊研修施設(ふるさと村高暮), 資源化施設(一般廃棄物最終処分場).

※公民館の自治振興センター化に伴う管理者の変更は23ページに掲載しています。

問い合わせ 管財課管財係 0824-73-1124



農道・水路・ため池などの維持管理記録を

日ごろから農業用施設の適正な維持管理をしていただくのはもちろんですが、万一災害が発生した場合に備えて、農業用施設の維持管理記録簿の整理もお願いします。

国による農業用施設(農道・水路・ため池など)の災害復旧の認定を受けるためには、施設の適正な維持管理と点検記録簿の整理に加え、維持管理作業写真が必要となります。これらの資料がすべて整理されていないと、国の災害査定時に採択されないことがあります。災害申請をされる場合は、必ず維持管理の記録が求められますので、日ごろの整理が大切です。

なお、点検記録簿の参考様式は農村整備課または各支所環境建設室にあります。また、市のホームページにも掲載しています。お問い合わせ 農村整備課耕地係 0824-731136

広域観光パンフレット発行

備北観光ネットワーク協議会は、広域観光パンフレット「備北のかがやき・春編」を発行しました。

このパンフレットは、庄原市・三次市の春から夏のイベント情報、観光施設やお店の紹介など、備北地域の情報を盛りだくさんに掲載しています。備北地域の観光施設やお店で自由に持ち帰られるほか、イベントなどでも配布します。

ぜひ、ご覧いただき、ご家族やお友だちと出かけてみてください。お問い合わせ 備北観光ネットワーク協議会 0824-443855

広島県最低賃金

広島県最低賃金は、時間額692円です。

これは、県内の事業所で働くすべての労働者に適用されます。年齢・性別・雇用形態(常用・臨時・パート・アルバイトなど)・支払形態(月給・日給・時給など)の別を問いません。特定の産業で働く労働者

については、広島県最低賃金よりも金額の高い産業別最低賃金が適用される場合があります。使用者も労働者も、最低賃金を必ずチェックしましょう。

お問い合わせ 広島労働局労働基準部賃金室 0824-2219244 三次労働基準監督署 0824-622104

「この社会あなたの税がいきている」 利用推進運動中 e-Tax (国税電子申告・納税システム) http://www.e-tax.nta.go.jp 社団法人 庄原法人会 〒727-0011 広島県庄原市東本町1-2-22 (庄原商工会議所会館内) TEL 0824-72-1889 (FAX兼用) HP: http://www10.ocn.ne.jp/~shk/

あっぱれ庄原

全国レベルの大会出場者、全国・県レベルの大会、市が共催する各種大会などの上位入賞者を掲載します。(敬称略)

全国大会

世界児童画展

- 特選 渡辺 信弥(東小2年)
●入選 本田 優太(庄原小3年)

NHK全国俳句大会

- 特選 池上恵美子(高町)
●入選 原 博巳(東本町)
池上恵美子(高町)
竹地 恵美(川北町)

NHK全国短歌大会

- 入選 藤野 和恵(川手町)
田中 睦子(東城町)

国民文化祭俳句大会

- 入選 竹地 恵美(川北町)

与謝野晶子短歌文学賞

- 入選 家島 晶子(口和町)

県大会

広島県なぎなた選手権大会 (3月7日・広島市)

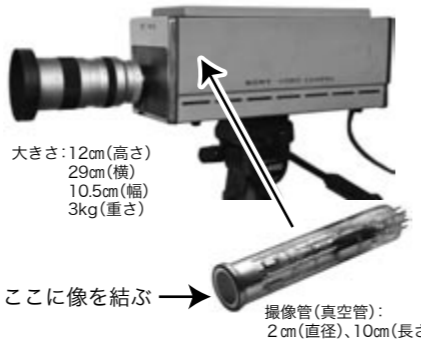
- 基本の部 3位 上貝 真帆(西城小1年)
●小学校高学年の部(ペア) 優勝 久保 春喜(西城小2年)
久保 寛明(西城小5年)

- 小学校低学年の部 準優勝 久保 春喜(西城小2年)
●中学校女子の部 優勝 森本真由子(西城中3年)
●高校生の部 優勝 足立 朱穂(庄原実業高2年)

口和郷土資料館

0824872230 開館日 月・木・土 9時~17時

白黒式テレビカメラ



大きさ: 12cm(高さ) 29cm(横) 10.5cm(幅) 3kg(重さ)

撮像管(真空管): 2cm(直径)、10cm(長さ)

これは昭和43年ごろにソニー(株)で製造された「白黒式テレビカメラ」です。撮像(写真フィルムに相当)には写真にある小型の撮像管を使い、電源は交流100Vを使っています。これまでのテレビカメラに比べ格段に小型化されましたが、操作の難しさや専用のモニター用のテレビが必要のため、主に学校や会社などの業務用として使われていました。その後、機器が小型軽量化し、ポータブル型として屋外でも使えるようになりました。テレビカメラは、レンズから入った画像(光)を撮像管(真空管)で電気信号に変え、画像を取り出します。192

4年、イギリスで円盤を回す機械的な方法による静止画像の送像と受像実験に初めて成功し、日本では1926年12月に、高柳健次郎氏が世界で初めて現在の「ブラウン管方式」で、カタカナの「イ」の字の受像(送像は機械式による)実験に成功しています。その後、撮像素子の進歩によって画質や感度も向上し、真空管からトランジスタやICを使う事により、高性能かつ小型化が進みました。現在ではCCDなどの半導体へと変わって更に小型化し、高画質なハイビジョン方式のカメラ・VTR一体型のもものが、家庭でも手軽に使えるようになってきています。世界中で日本製のテレビカメラが多く使われており、このたびのパンクローバーオリンピックでも、日本製の放送用テレビカメラが大活躍しました。

◎訂正とお詫び

広報しようばら2月号の記事において、「...の高電圧を加えるため、大変危険でした。」と記載しておりましたが、「...の高電圧を加えています。」と訂正いたします。250Vの高電圧は、約40Vに降下させてマイクに加えているので危険ではありません。当館の展示品は安全なものを揃えておりますので安心してご覧においでください。

備北丘陵公園 だより



花も、遊びも。ピクニックで過ごそう 備北丘陵公園 『春まつり』開催! 4月8日(木)~5月9日(日) ~期間中は毎日開園!~

備北公園管理センター 0824-72-7000 (http://www.bihoku-park.go.jp/)

春の花、咲いています

春の風が心地よい「花の広場」ではナノハナをはじめ、ビオラやパンジー、チューリップが次々と咲き続けます。花の広場のテーマは「かわいいうぶつたち」。色とりどりの花で、塗り絵のようにどうぶつたちを描きました。「はなの展望台」から眺めることができます。

サクラ(ソメイヨシノ)の見ごろは4月上旬。つどいの里のサクラが見所です。芝生の広場でのんびりとお花見するのがおすすめです。期間中の無料入園日 5月2日(日)、4日(火) 5日(水)

※5月5日(水)は小・中学生のみ入園料無料となります。 ※駐車料金は別途必要です。 主な花の見ごろ

- ナノハナ 4月上旬~4月中旬
●ビオラ・パンジー 4月上旬~5月下旬
●チューリップ 4月中旬~4月下旬
●アイストランドポピー 4月中旬~5月中旬
●シャレーポピー 5月中旬~6月上旬

イベントもいろいろ

手作り体験、ミニコンサート、カヌー体験など、親子で楽しめるイベントを開催します。

本格的な「たたら鉄づくり」の実演もあります。交代でふいごを踏む体験もここなら

シルバー料金始まりました!

4月1日から満65歳以上の方の入園料金が200円になりました。ご来園の際には、年齢(出生年月日)が分かるものをお持ちください。ご入園の際に確認させていただきます。ご理解ご協力をお願いします。年間パスポートのシルバー料金は2千円です。

サイクリング、ヤッホー!

園内には全長約7kmのサイクリング専用コースがあります。自転車はサイクリングセンターで貸し出しています。ご自分の自転車も持ち込みいただけます。ビギナーからベテランサイクリストの方まで、マイペースでお楽しみください。

※詳しくは公園ホームページ、「春まつり」のチラシをご参照ください。



**人の動き**  
平成22年2月末日現在

- 住民基本台帳登録人口  
人口 41,039人(前年比-581人)  
男 19,468人(前年比-275人)  
女 21,571人(前年比-306人)  
世帯数 16,045世帯(前年比-7世帯)
- 【各地域の内訳】  
庄原地域 19,508人(7,741世帯)  
西城地域 4,306人(1,579世帯)  
東城地域 9,325人(3,815世帯)  
口和地域 2,341人(849世帯)  
高野地域 2,161人(705世帯)  
比和地域 1,732人(665世帯)  
総領地域 1,666人(691世帯)
- 外国人登録人口  
人口 320人(前年比+1人)

**市税・水道料金・下水道使用料  
納付は口座振替が便利です**

- 手続きは各金融機関の窓口でお願いします。  
※残高確認も忘れないでください。
- 税務課収納係 ☎0824-73-1145
  - 下水道課管理係 ☎0824-73-1175
  - 水道課庶務係 ☎0824-73-1197

**献血のご案内**  
☎保健医療課 ☎0824-73-1155

献血をつぎのとおり実施します。  
皆さんのご協力をお願いします。

実施日	会場	受付時間
4月28日(水)	県立広島大学 庄原キャンパス	11時30分～15時

【お詫びと訂正】  
広報しょうばら3月号11ページの「さとバスツアーガイド募集」のインタビュー記事で、帝釈理科講習会の主催に誤りがありました。正しくは、帝釈理科講習会実施委員会です。訂正し、お詫び申し上げます。

**広報日記**  
春は異動の季節です。「広報しょうばら」の編集を4年間担当させていただきましたが、人事異動により今月号が最後となりました。広報取材では、多くの出会いや感動があり、いつも刺激を受けながら楽しく仕事できました。お忙しい中、広報紙づくりにご協力いただいた皆さん、そして読者の皆さん、本当にありがとうございました。引き続き「広報しょうばら」をよろしく願います。☺

**犬・猫の引き取り**  
☎環境衛生課 ☎0824-72-1398

4月・5月の犬・猫の引き取りは、次の日程で実施します。  
なお、手続きには認印が必要です。持参してください。

庄原地域	毎月第1～第4火曜日 4月13日・20日・27日 5月11日・18日・25日	11:00～11:10 東自治振興センター 11:25～11:35 市役所車庫 11:50～12:00 敷信自治振興センター
西城地域	毎月第1・第3木曜日 4月15日、5月6日・20日	9:00～ 9:10 西城支所前
東城地域	毎月第1・第3木曜日 4月15日、5月6日・20日	9:40～ 9:50 小奴可研修センター 10:20～10:30 東城文化会館
口和地域	毎月第4木曜日 4月22日、5月27日	11:40～11:50 口和支所前駐車場
高野地域	毎月第4木曜日 4月22日、5月27日	13:20～13:30 高野支所横
比和地域	毎月第4木曜日 4月22日、5月27日	13:50～14:00 比和支所
総領地域	毎月第2水曜日 4月14日、5月12日	9:40～ 9:50 総領支所 (スクールバス駐車場)

※庄原地域の5月4日は、祝日のため定期収集がありません。

**男女共同参画コーナー** 女性児童課 ☎0824-73-1243  
**ランドセルの色は何色？**

4月は、新しい生活が始まる季節です。  
大きなランドセルを背負った、ピカピカの1年生を見かける頃になりました。  
昔は赤と黒しかなかったランドセル。最近は、24色のパリエーションなど、とてもカラフルでびっくりします。それでも、女の子は赤やピンク、男の子は黒や青のランドセルが多いのではないのでしょうか。  
「女の子だから」「男の子だから」ではなく、本当に好きな色を選べたらいいですね。  
もしあなたが今小学校1年生だったら、何色のランドセルを選びますか？



配偶者・パートナーからの  
**暴力(DV)で悩んでいませんか**  
～あなたは“ひとり”じゃない～

広島県西部こども家庭センター 女性相談課  
(配偶者暴力相談支援センター・婦人相談所) ☎082-254-0391

広島県北部こども家庭センター 相談援助課  
(配偶者暴力相談支援センター) ☎0824-63-5181 (内線2313)

庄原市役所 女性児童課 ☎0824-73-1243

**市民ギャラリー「アート多愛夢」  
情報BOX**

市街地の空き店舗を活用した、  
各種展示ができる市民ギャラリーです。

**浜田昭法の洋画(広島二科同人会)**  
とき 5月8日(土)～10日(月)  
10時～17時  
☎庄原市文化協会事務局 ☎0824-72-5453  
商工観光課商工振興係 ☎0824-73-1178  
※展示を希望される団体(または個人)はお申し込みください。使用料はありません。

【お詫びと訂正】  
広報しょうばら3月号の市民ギャラリー「アート多愛夢」のイベント記事で、誤りがありました。正しくは次のとおりです。訂正し、お詫び申し上げます。  
「楽しく遊ぶキルト」展示即売  
とき 4月8日(木)～10日(土)

**ふれあい市長室の日程**  
☎企画課広報統計係 ☎0824-73-1159

- ◎とき 5月8日(土) 9時～12時
  - ◎ところ 口和支所
- ※公務により実施できない場合もあります。  
※道路の改良・維持・修繕などの要望、陳情は、事業担当課へお願いします。

**休日診療のご案内**

4月・5月の休日診療については、次のとおりです。

●庄原地域

4月11日(日)	河本医院	☎0824-75-0311
18日(日)	笠間医院	☎0824-72-0535
25日(日)	田淵医院	☎0824-72-3900
29日(木)	藤野医院	☎0824-72-4646
5月2日(日)	庄原赤十字病院	☎0824-72-3111
3日(月)	毛利医院	☎0824-72-2863
4日(火)	戸谷医院	☎0824-72-3131
5日(水)	児玉医院	☎0824-72-0147
9日(日)	林医院	☎0824-72-0121

●東城地域

4月11日(日)	東城病院	☎08477-2-2150
18日(日)	瀬尾医院	☎08477-2-0023
25日(日)	こぶしの里病院	☎08477-2-5255
29日(木)	細川医院	☎08477-2-0054
5月2日(日)	東城病院	☎08477-2-2150
3日(月)	こぶしの里病院	☎08477-2-5255
4日(火)	三上クリニック	☎08477-2-1151
5日(水)	日伝医院	☎08477-2-2180
9日(日)	東城病院	☎08477-2-2150

**ゆめさくら**  
☎0824-75-4411

【4～5月のイベント情報】

- ▶ゆめさくら講座  
○かずら教室  
～かずらで花台づくり～  
とき 4月16日(金)  
朝の部 9時30分～12時  
昼の部 13時～15時  
参加費 1,800円 定員 各10人
- 癒しの空間づくりKouza  
～大きな苔玉づくり～  
とき 4月23日(金)  
朝の部 10時30分～12時30分  
昼の部 13時30分～15時30分  
参加費 1,500円 定員 各15人
- 草木染め教室  
～Tシャツ染め～  
とき 4月26日(月)  
朝の部 9時～12時  
昼の部 13時30分～15時30分  
参加費 3,900円 定員 各10人
- 申込締切 4月16日(金)
- 郷土料理教室  
～初夏の山菜を味わおう～  
とき 5月13日(木)10時～14時  
参加費 1,500円 定員 30人

- ▶展示  
○手仕事 里山のさくらと福朗展  
期間 3月26日(金)～4月18日(日)
- 三村 青楓展  
～春の山野草の寄せ植え～  
ミニ教室あり  
期間 5月14日(金)～16日(日)

**しょうばら九日市**

毎月9日は、しょうばら九日市  
★出展者募集中! あなたのお店を開こう。  
★毎月20日が出店申込締切です。  
★申し込みは  
交流サロンラッキー ☎0824-72-0075まで

5月  
《とき》 5月9日(日) 10時～14時  
《ところ》 中本町商店街周辺  
(のぼりが目印)

詳しくはHPで <http://kunchi-ichi.main.jp>





# 利りの絆きずな 勝しょう庄鯉

巻末特集

## カーブ応援がまちの活力に

Special feature  
SHO-RI no kizuna



プロ野球2010年シーズンが開幕しました。みんなで球場へ行きませんか？平成17年、「カーブを支えたい」と始まった庄原市カーブ応援隊。毎試合バスで球場に繰り出し、外野スタンドから熱い声援を送っています。一方で、カーブの応援やカーブとの交流がまちの活力になっています。「カーブは地域の宝」。この5年間の交流や連携を振り返ります。

### 庄原市カーブ応援隊を結成

**平** 成16年秋、広島市民球場(中区)に替わる新球場建設を目指す「たる募金」が、庄原市でも始まりました。当時は、オリックスと近鉄の合併に端を発した球界再編問題、リーグ構想など、カーブの存続に対する不安も広がっていました。「たる募金でお金を集めるだけじゃ

あいけん」「新球場が建っても、応援に行かんかったらカーブは潰れる」「一番大事なのは、球場へ行って応援することじゃないか」

こういう声が出始め、庄原市観光協会を中心に、商工会議所、郷心会、市の4者が発起人となり、官民一体となって「庄原市カーブ応援隊」を結成。外野スタンドの年間指定席を40席購入し、広島市民球場で行われる全試合に庄原市から応援に行くことを決めました。

### 地元バス会社が支援

**参** 加費は、庄原市から広島市への往復バス代と観戦チケットがセットで、3千円でスタート。バスの往復料金3620円よりも安く、しかもプロ野球が観戦できるという魅力的な料金設定にしました。地元バス会社と協議し、試合が延長になっても時間を心配しなくていい

よう貸切バスを運行。参加人数が少ない場合は、庄原市と広島バスセンターを結ぶ路線バスを利用し、運行リスクを回避する仕組みを考えました。また、観戦ツアーの一番手間な予約業務も、そのノウハウを持つバス会社が担うことになりました。

「他の地域が真似できない理由は、バス会社の存在が大きい」と市商工観

光課の前田忠範係長。地元バス会社の全面的な支援で、「観戦ツアー」がスタートしました。



貸切バスで「観戦ツアー」

### 昨年の稼働率は99.5%

**赤** いジャンパーを着て、庄原シートを真っ赤に染めよう」を合言

葉に、応援隊のメンバーが声をかけ、観戦ツアーをPRしました。当初、「テレビで見たほうがいい」「どうせ行くんなら内野席がいい」という声が多かったものの、実際に行ってみると「大声で応援してスカッとした」「外野席で応援したほうが楽しい」と、徐々に参加者が増えていきました。初年度のツアー参加者は年間1675人、2年目は1927人、市民球場最後の年となる4年目は2172人と着実に実績をあげ、新球場元年の5年目は稼働率99.5%を超える2666人が参加しました。「昨年、新球場になって参加者から間違いなく出てくる言葉が楽しかった。また行きたい」。こう話すのは事務局長の山根英徳さん。「観戦ツアーがいつぱいで断ることも多く、別に貸切バスを用意したり、他の席にも座ってみたいと個人で観戦に行ったり、4

千人を超える市民が球場に足を運んだと感じています」。

### 一体感の醸成、住民の親睦

**観** 戦ツアーが始まった平成17年は、ちょうど市町村合併の年でした。合併する1市6町が、カーブの応援を通して心をつなにし、「新庄原市」の一体感の醸成も図りたい。関係者にはそんな思いもありました。西城の日、東城の日など、各地域の日を設定し、その地域発着の観戦ツアーを設けました。また、地域である程度の人数がまとまれば、その地域発着でバスを運行することができ、年々、地域や団体による利用が増えています。

高自治振興区は2年前から、地域住民の親睦を兼ねて観戦ツアーを行っています。「地元発着だから車の運転をしなくてもいい。安心してアルコールを飲んで、近所の人とワイワイ野球が楽しめる。本当に便利」。年間2回の観戦ツアーを今年は3回にしてほしいという声が上がっています。

また、庄原市シルバー人材センターでも、カーブ応援隊を結成するなど、応援の輪が広がっています。

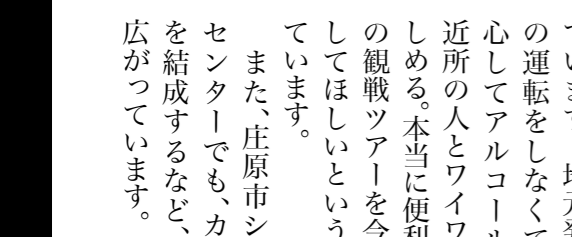
### 球場で庄原市の魅力をPR



庄原市・日南市・由宇町の3地域が球場で合同販売

**庄** 原市カーブ応援隊の大きな目的は2つ。一つは、球場でカーブを応援すること、もう一つは、球場で庄原市をPRすること。オーロラビジョンで庄原市の映像を放映してもらったり、球場で庄原市特産品を販売したり。「庄原市ってすごい」「いいまちだね」という声や、観客から聞かれるようになりました。

カーブは最高の広報媒体。カーブとの交流や連携のたびに、マスコミに取り上げられ、庄原市の露出度が格段に上がってきています。また、カーブのホームページに、庄原市カーブ応援隊のバナー広告を載せているのも異例。カーブの応援を通して、庄原市への観光客の増加や、特産品の販売増にもつながっていきたいと期待をしています。







### カーブが庄原市を支援

原市がカーブを応援する一方で、カーブも庄原市を応援しています。

「庄原市カーブ応援隊が年間指定席を40席買ってくれると聞いた時は、今までで一番の感激でした」と振り返る松田元オーナー。「当時は1リーグ構想がおさまり、これからどう経営をしていけばよいか、一番苦しい時でした。



子どもミュージカル副実行委員長 片岡佐和子さん

### 球場でのパフォーマンスが宝に

「子どもたちのいい笑顔がみたい」に共感していただき、カーブから子どもミュージカルに対して信じられないような支援をいただいています。その中でも、球場での踊りの披露は、子どもたちにももちろん、その家族にとっても、特別な宝物を与えられたと思っています。松田オーナーとお話をする際、いつも庄原市民以上に庄原市を愛してくださっていると感じます。その思いや支援に恥じないような活動や発信をこれからもしていきたいと思っています。

【インタビュー】

全国でたる募金をしてもらいました。が、球団にとって一番うれしい応援は席を買っていただくこと。県内で広島市から一番遠いにもかかわらず、庄原市の人たちはそれを選択してくれました。苦しい時に差しのべられた手は、誰も忘れることができません。」

実は、球団創設期で経営が苦しかった時代、庄原市名誉市民で元県議会議長の西田修一さんが、県教育委員会で年間指定席を購入し、カーブを支えてくれたというエピソードを、松田オーナーは父親から聞いて育ちました。



吉田麻衣さん(上原町)

### カーブ特製色紙に感激

広報紙で「カーブ特製色紙がもらえると知り、息子(真太)が生まれる前から楽しみで、実際にいただいた時には本当にうれしかったです。また、色紙用写真の無料撮影券もいただき、家族みんなで撮影に行きました。撮影した写真で携帯ストラップも作り、常に持ち歩いています。一生のいい記念になりました。男の子なので将来は野球をやっつけてほしいと思いますし、子どもと一緒に球場でカーブを応援することが今から楽しみです。

### ◎ 庄原市の発展に貢献したい



広島東洋カーブ 松田元オーナー

### カ

ーブが市民球団として地域に根づいていくために、「2WAY」(双方向)が大切だと考えています。ファンや地域の方の知恵や要望を生かし、球団側も支援や協力をお願いします。そのことが地域に活力を生んだり、地域と世代、世代と世代を結んだりすることができると思います。

その中でも庄原市は、私にとって特別な地域です。父親の代から苦しい時に支援していただき、今回こうしてお付き合いさせてもらって、球団としても幸運だと感じています。これから

### 広がる交流 強まる絆

滝口季彦市長は「庄原市に対する松田オーナーの思い、そしてさまざまな支援は本当にありがたい。今後、庄原市とカーブが一体となって共に発展していければ」と願っています。

### 庄

原市カーブ応援隊がきっかけになって、松田オーナーをはじめ、監督、選手らが庄原市を訪れ、地元ファンと交流する機会が増えました。また、二軍の練習場がある山口県由宇町やカーブのキャンプ地日南市との交流や、カーブOBとの交流、市内業者による新球場スポーツバーの施工や、カーブ激辛キムチの製造など、さまざまな交流や連携が生まれています。

昨年、市役所新庁舎と新球場の完成を記念し、平成21年生まれの新生児279人にカーブ選手特製「誕生記念色紙」が贈られました。全国でも例のない、自治体とプロ野球球団とのコラボレーション事業としてマスコミにも大きく取り上げられたほか、市民にも好評で出生数増加の弾みになりました。

地元写真家協会が協賛し、色紙用写真の無料撮影プレゼントも行われ、今シーズンの開幕には、撮影した赤ちゃんの写真を球場内に飾りました。「将

### ◎ 共に発展できる交流を続けたい



庄原市カーブ応援隊 塩本誠二 実行委員長

### 庄

原市カーブ応援隊が購入する年間指定席代は400万円ですが、カーブ球団には、それをはるかに超える支援を庄原市にしていただいています。また、松田オーナーに「〇

〇ができませんか?」とお願ひに行くのと、「こうすればもつとおもしろいものができると、付加価値をつけて逆に提案をいただいています。カーブとのつながりの中から生まれたものも多く、本当に感謝しています。松田オーナーのこの気持ちに込めるために、お互いにメリットを共有できる企画を考え、共に発展できる交流を続け

ていきたいと思っています。

今後の庄原市カーブ応援隊の運営については、財源をどういうカタチで確保していくのが課題となつていきます。企業スポンサーに依存できない今、個人協力の額を下げるなど、市民の応援が増えるいく方法を考えていきたいと思っています。そのためにも、市民の皆さんが喜んで参加し、協力金も出したいと思えるように、庄原市とカーブの一体感、絆の強さをPRし、さらなる元気を生み出す活動を末永く継続していきたいと思っています。

### 厳しい財政 協力が欠かせない

来、子どもと一緒に新球場でカーブを精一杯応援したい」と保護者。カーブに対する愛着が市民に深まるとともに、庄原市とカーブの絆がますます強くなっています。

### 観

戦ツアーを継続していくためには、協力金への賛同が欠かせない」と山根事務局長。運営費はギリギリの状況で、なんとか切り盛りしています。観戦ツアーの財源は、3500円の参加費のほか、タオルなどのグッズの販売、そして企業・団体・個人の協力金などで賄われています。その中で、協力金が全体の約3割を占めています。

「球場で庄原市をPRして観光客を市内に呼び込んでほしい」と、地元企業から協力金をいただいています。景気の悪化で地元企業への依存は厳しい。今後は、少しずつ個人会員を増やしていきたい。」

協力金は1万円からで、特典として庄原市カーブ応援隊ホームページに名前を掲載し、特製マフラータオルを1枚、さらに1試合の参加券1枚のプレゼントがあります。事務局では、今後この特典をPRしていくとともに、新たな特典も考えています。